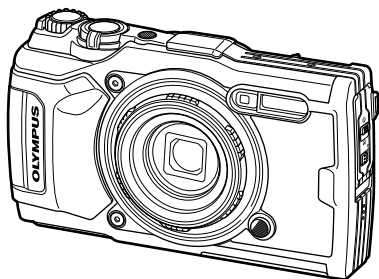


デジタルカメラ

## TG-6

### 取扱説明書



はじめに

もくじ

やりたいこと別かんたん検索

1. 準備する

2. 撮影する

3. 再生する

4. メニューの機能

5. スマートフォンと接続する

6. フィールドセンサー機能を使う

7. パソコンと接続する

8. ご注意

9. こんなときは？

10. 資料

11. 安全にお使いいただくために

Model No. : IM015

■ オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■ 「11. 安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

■ 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

■ カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

# はじめに

## **「11. 安全にお使いいただくために」をお読みください**

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「11. 安全にお使いいただくために」(P.146)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

## **このカメラの無線LAN、GPS機能について**

このカメラは、無線LAN、およびGPS機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線LAN、およびGPS機能を停止させてください。

🔊「5. スマートフォンと接続する」(P.106)、「6. フィールドセンサー機能を使う」(P.111)

## **ユーザー登録について**

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

## 本製品の説明書について

本製品では、付属の「取扱説明書」（本書）と「防水製品の取り扱いについて」の他に、PDF版の取扱説明書や「機能活用ガイド」をご用意しています。あわせてご利用ください。



### 取扱説明書（本書およびPDF版）

カメラの使い方と機能について説明しています。PDF版は、当社ホームページの下記URLからダウンロードすることができます。

[https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/man/man\\_compact.html#tg](https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/man/man_compact.html#tg)

- PDF版については、スマートフォン用アプリ OLYMPUS Image Share (Ol.Share)から直接ダウンロードもできます。



### 防水製品のお取り扱いについて

防水機能を正しく使用するための注意事項を説明しています。「防水・耐衝撃性能について」（P.123）とあわせてお読みください。



### 機能活用ガイド



このカメラの機能をご活用いただくために、機能や設定についての情報を掲載しています。Ol.Shareからもご利用いただけるようにスマートフォンなどの表示にも最適化されています。

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/webmanual/index.html>



## 本書の表記について

本文中、以下の表記を使用しています。

 <b>メモ</b>	実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

はじめに	2	■ カスタムモードを使う (カスタムモードC1 / C2) .....	36
やりたいこと別かんたん検索	8	設定を登録する .....	36
各部の名称	10	登録した設定を呼び出す .....	36
1. 準備する	12	■ ムービーを撮る .....	37
■ 付属品を確認する .....	12	■ 静止画撮影時にムービーを撮る .....	37
■ 電池とカードを入れる／取り出す ..13		■ ムービーモードを使って撮る (モード) .....	38
電池を取り出す .....	14	■ 撮影機能を使う .....	39
カードを取り出す .....	15	■ ダイレクトボタンで設定する機能 ..40	
使用できるカード .....	15	画像の明るさを変えて撮影する (露出補正) .....	40
■ 電池を充電する .....	16	被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン) .....	41
■ 電源を入れる .....	17	連写する／セルフタイマーを使う .....	42
■ 初期設定をする .....	18	プロキャプチャー .....	44
■ 言語の表示がおかしい／設定した 言語が表示されないときは .....	20	フラッシュを使って撮影する (フラッシュ撮影) .....	45
■ カードを初期化する .....	21	ピントを固定する (フォーカスロック) .....	46
2. 撮影する	22	ワンタッチライトを使う .....	47
■ 撮影時の情報表示 .....	22	■ ライブコントロールで設定する 機能 .....	48
情報表示を切り換える .....	24	画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード) .....	50
■ 簡単に撮影する .....	25	感度を変更する (ISO感度) .....	52
静止画を撮る (オートモード) .....	25	画像の色合いを調整する (ホワイトバランス) .....	53
ズームを使う .....	26	ピントの合わせ方を設定する (AF方式) .....	55
■ 撮影モードを選択して撮影する .....	27	アスペクト比を設定する .....	55
撮影モードの種類 .....	27	画質を選択する (画質モード) .....	56
■ 撮影シーンに応じた設定で撮影する (SCNモード) .....	28	画質を選択する (画質モード) .....	57
[ライブコンポジット]で撮影する .....	30	手ぶれを抑えて撮影する (手ぶれ補正) .....	59
[パノラマ]で撮影する .....	31	フラッシュの発光量を調節する (フラッシュ発光量補正) .....	59
■ 被写体に接近して撮影する (モード) .....	32	明るさを測る方法を選択する (測光) ..60	
■ 水中撮影に適した設定で撮影する (モード) .....	33	自動的に人物の顔を検出する (顔優先) .....	60
■ 絞り値とシャッター速度を自動で 設定して撮影する (Pモード) .....	34	別売アクセサリーを使う (アクセサリー) .....	61
■ 絞りを決めて撮影する (Aモード) ..35			

### 3. 再生する 62

再生時の情報表示	62
再生画像情報	62
情報表示を切り換える	63
撮った画像／ムービーを見る	64
インデックス再生／カレンダー再生	65
クローズアップ再生	65
ムービーを再生する	66
再生中の画像を消去する	66
再生メニューを使う	67
▶ 再生	67
RAW編集／JPEG編集	68
ムービー再生	69
ムービー編集	69
シェア予約	71
プロテクト	71
録音	72
回転	72
スライドショー	73
画像合成	74
プリント予約	75
1コマ消去	75
画像の選択(プロテクト・選択コマ 消去・選択コマシェア予約)	76
パノラマ画像をスクロール 再生する	77

### 4. メニューの機能 78

メニューの基本操作	78
撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 を使う	80
撮影機能を初期設定に戻す・お気に入りの 設定を登録する (リセット／カスタム登録)	80
画像の仕上がりを設定する (ピクチャーモード)	81
ピントを合わせる範囲を選択する (AFターゲット選択)	82
一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影)	84

ピント位置を少しずつ変化させて  
撮影する(Focus BKT) .....85

ピント位置を変えて撮影した画像を  
合成する(深度合成設定) .....86

静止画撮影時に日付を写し込む  
(日付写し込み) .....86

■ 動画メニューを使う .....87

■ 再生メニューを使う .....88

画像を回転して再生する(回転再生) ...88

撮影した画像を加工する(編集) .....88

ムービーから静止画を切り出す  
(静止画切り出し) .....92

ムービーをトリミングする  
(トリミング) .....93

全プロテクト解除 .....93

■ セットアップメニューを使う .....94

全コマを消去する  
(カードセットアップ) .....95

表示言語を設定する(●●) .....95

■ カスタムメニューを使う .....96

**A** AF/MF .....96

**B** 表示/音/接続 .....96

**C** 露出/ISO .....97

**D** フラッシュ .....98

**E** 画質/WB/色 .....98

**F** 記録 .....99

**G** フィールドセンサー .....100

**H** その他 .....100

暗い場所でもピントを合わせやすくする  
(AFイルミネーター) .....101

MFアシスト .....101

情報表示の画面を追加する .....102

カメラの画像をテレビで見る .....104

JPEGの画像サイズと圧縮率の  
組み合わせ .....105

### 5. スマートフォンと接続する 106

■ スマートフォンとの接続設定を  
する .....107

■ スマートフォンに画像を  
転送する .....108

■ スマートフォンからリモート撮影する .....	108
■ 接続の方法を変更する .....	109
■ 無線LAN設定の内容をリセットする .....	109
■ パスワードを変更する .....	110
■ シェア予約を解除する .....	110

## 6. フィールドセンサー機能を使う

111

GPS機能をお使いのときのご注意 ...	111
GPS機能を使う前に (GPSアシストデータ) .....	111
GPS機能を使うには .....	112
GPSログを軌跡表示する .....	112
■ ログを記録する／保存する .....	113
■ 記録／保存したログを使う .....	114
■ 測位情報画面を表示する .....	115
画面表示 .....	115

## 7. パソコンと接続する

116

■ カメラをパソコンに接続する .....	116
■ パソコンに画像を取り込んで保存する .....	117
■ ソフトウェアのインストール .....	117

## 8. ご注意

118

■ 電池についてのご注意 .....	118
■ 海外での使用について .....	118
■ カードの撮影可能枚数(静止画)／ 撮影可能時間(ムービー) .....	119
■ カメラのお手入れと保管 .....	121
カメラのお手入れ .....	121
カメラの保管 .....	122
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング .....	122
■ アフターサービス .....	122
■ 防水・耐衝撃性能について .....	123

■ 別売品を使う .....	125
別売シリコンジャケットの 取り付け方 .....	125
オリンパスワイヤレスRCフラッシュ システムを使って撮る .....	125
■ 別売アクセサリーについて .....	126

## 9. こんなときは？

130

■ 故障かな？と思ったら .....	130
--------------------	-----

## 10. 資料

136

■ 撮影モード設定可能一覧 .....	136
■ 初期設定／カスタム一覧 .....	140
■ 仕様 .....	144

## 11. 安全にお使いいただくために

146

■ 安全にお使いいただくために .....	146
■ 使用上のご注意 .....	150
■ その他のご注意 .....	152

## 索引

155



# やりたいこと別かんたん検索

## 撮影について



難しい設定をせずとにかく簡単に撮りたい	▶ オートモード(  )	25
光の軌跡を撮りたい(比較明合成)	▶ ライブコンポジット(SCN)	30
小さな被写体を拡大して撮りたい/ マクロ(接写)撮影したい	▶ 顕微鏡モード(  )	32
手前から奥まで全体にピントが合っている写真を撮りたい	▶ 深度合成	32
おしゃれな雰囲気の写真が撮りたい/ モノクロ撮影したい	▶ <b>ART</b> (ピクチャーモード)	50
水中に適した設定で撮影したい	▶ 水中モード(  )	33
写真の明るさ暗さを調節したい	▶ 露出補正	40
位置情報(GPS)、気温・水温、 標高(水深)、方位を記録したい	▶ フィールドセンサー機能	111
見た目と同じ色で撮りたい	▶ ホワイトバランス	53
写真の縦横比を変えたい	▶ アスペクト比	55
狙った被写体にピントが合わない/ 狙った1点にピントを合わせたい	▶ AFターゲット選択	82
動く被写体にピントを合わせ続けたい	▶ 自動追尾	83
暗くて良く見えない場所で撮りたい/ 暗いところにある被写体を撮りたい	▶ ワンタッチライト ▶ AFイルミネーター	47 101
一瞬を逃さず撮りたい	▶ プロキャプチャー	44
水平・垂直を確認しながら撮りたい	▶ 水準器	24, 102
構図を意識して撮影したい	▶ 表示罫線選択	96
モニターを見やすくしたい/ モニターの色味を調節したい	▶ モニター調整	94
撮影枚数を増やしたい	▶ 画質モード	56
リモコンで撮影したい	▶ スマートフォンからリモート 撮影する	108



## 再生／編集について



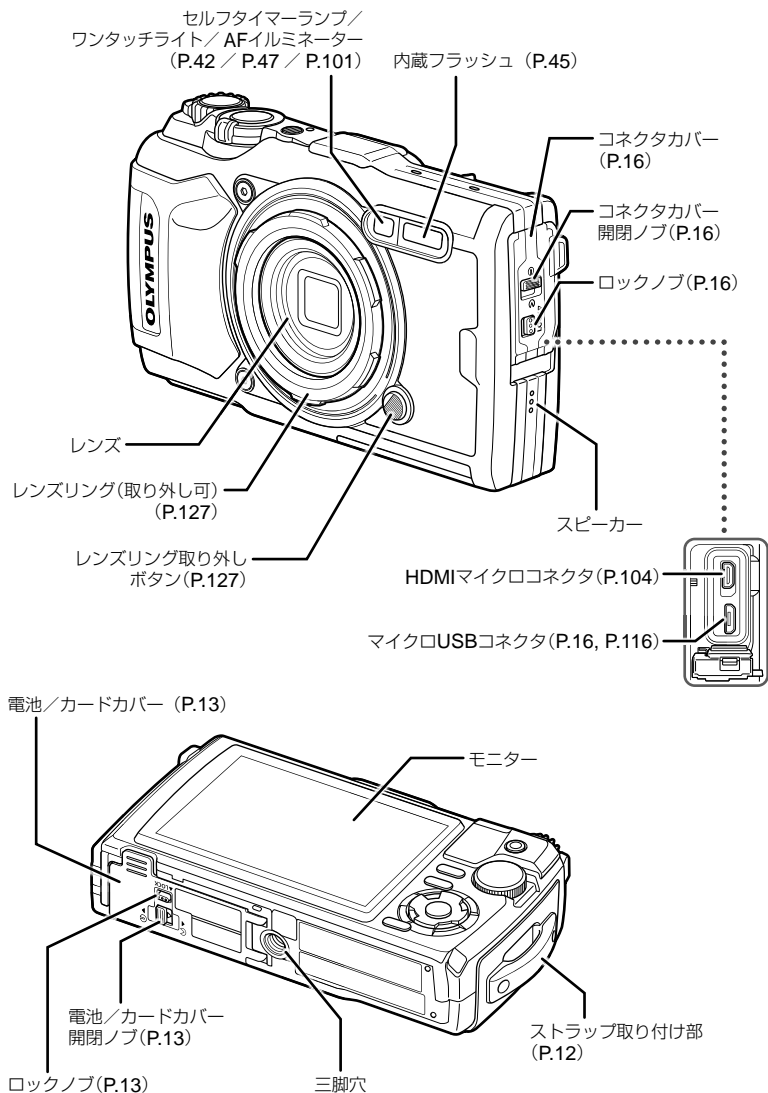
テレビに映して楽しみたい／ ハイビジョンテレビで高画質で見たい	▶ HDMI カメラの画像をテレビで見る	97 104
暗く影になった部分を明るくしたい	▶ 階調オート(JPEG編集)	68, 90
赤目を修正したい	▶ 赤目補正(JPEG編集)	68, 90
簡単に印刷したい	▶ プリント予約	75
静止画に録音済みの音声を消したい	▶ 録音	72
インデックス再生画面の分割数 変更・追加したい	▶ /Info表示設定	102

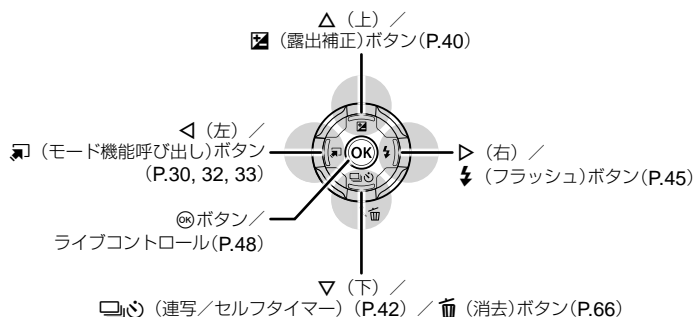
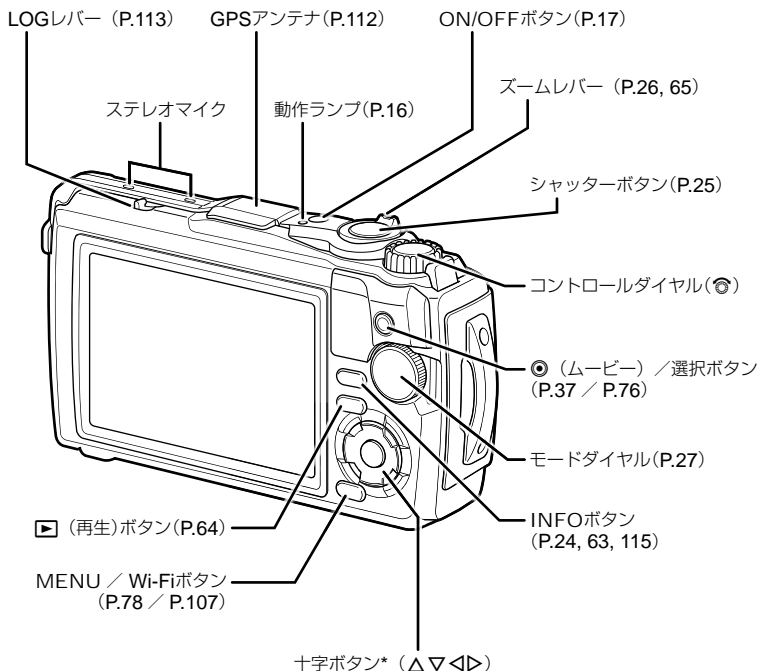
## 設定について



日付や時間を合わせたい	▶ 日時を設定する	18, 94
最初の設定に戻したい	▶ リセット	80
メニューの表示言語を切り換えたい	▶  (言語切り換え)	95
ピント合わせの音を消したい	▶ 電子音	96
お気に入りの設定を保存したい	▶ カスタムモード(C1/C2)	36
画像に日付を写し込みたい	▶ 日付写し込み	86
メニュー画面のガイドを非表示に したい	▶ メニューの基本操作	78

# 各部の名称





\* 本書では十字ボタンの操作を△▽◀▶のアイコンで示しています。

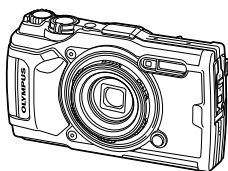
# 1 準備する

1  
準備する

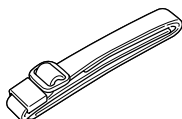
## 付属品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

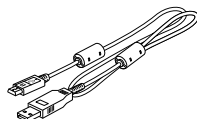
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



カメラ  
(レンズリングが  
取り外せます)



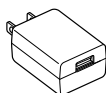
ストラップ



USBケーブル  
CB-USB12



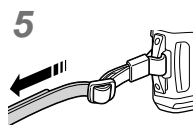
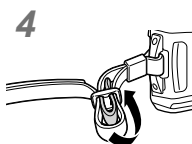
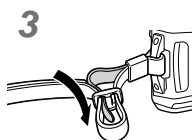
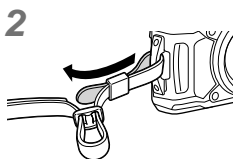
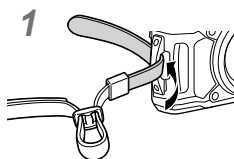
リチウムイオン電池  
LI-92B



USB-ACアダプター  
F-5AC

- 取扱説明書(本書)
- 防水製品のお取扱いについて
- 保証書

## ストラップを取り付ける



- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

## 電池とカードを入れる／取り出す

電池／カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。

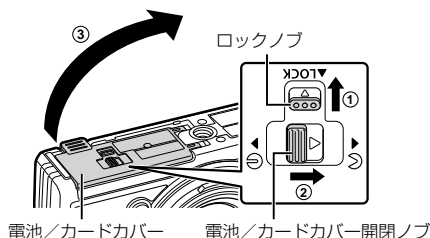
本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使ったカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。☑「カードを初期化する」(P.21)

1

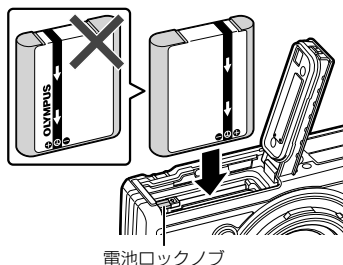
準備する

### 1 電池／カードカバーを開けます。



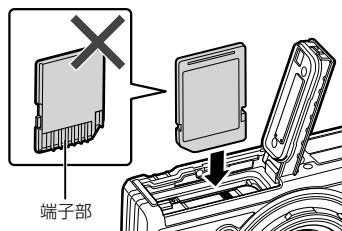
### 2 電池を入れます。

- 電池は必ずLI-92B (P.12, 145)をお使いください。
- 電池は⊖を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。
- 誤った向きで電池を入れると、電源が入りません。必ず正しい向きで入れてください。



### 3 カードを入れます。

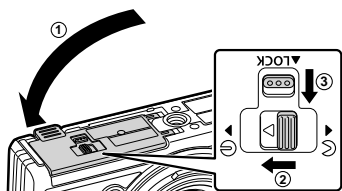
- カードがロックされるまで差し込みます。  
🔒 「使用できるカード」(P.15)



- 破損、変形したカードを無理に入れないでください。カードスロットを破損させる場合があります。

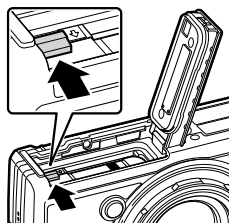
### 4 電池／カードカバーを閉めます。

- カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。



## 電池を取り出す

電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押し、ロックを外してから取り出します。



- カード書き込み中のマークが表示されている間は、絶対に電池を抜かないでください。

カード書き込み中マーク



- カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。

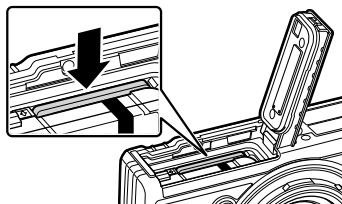
### メモ

- 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 「電池についてのご注意」もあわせてお読みください(P.118)。

## カードを取り出す

差し込まれているカードを軽く押すと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

- カード書き込み中のマーク(P.14)が表示されている間は、絶対にカードを抜かないでください。



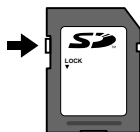
## 使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード(市販)です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



### SDカードの書き込み禁止スイッチについて

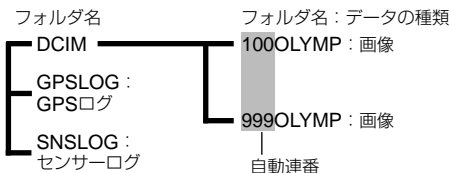
SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



- 新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使ったカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。☞「カードを初期化する」(P.21)
- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

### カードの保存先について

カードに保存される各データは、図のフォルダ内に保存されます。



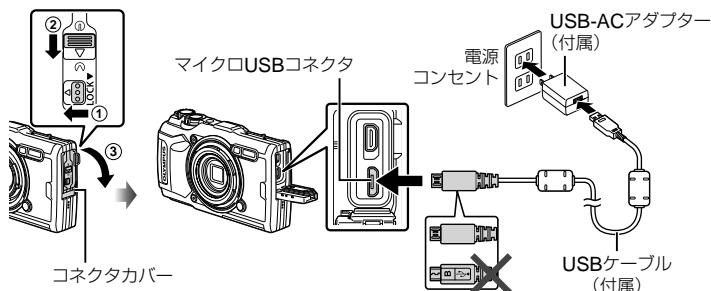
# 電池を充電する

お買い上げのとき、電池は十分に充電されていません。お使いになる前に、動作ランプが消えるまで電池を充電してください。

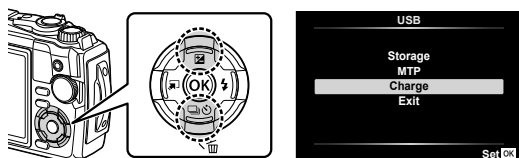
1

準備する

- 1 カメラに電池が入っていることを確認し、USBケーブル、USB-ACアダプター、電源コンセントを接続する。



- 2 十字ボタンの△▽で[Charge] (充電)を選択してⓀボタンを押す。



- 動作ランプが点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了すると、動作ランプは消灯します。
- 充電時間は約3時間です。周囲の温度が高い場合は充電時間が長くなる場合があります。

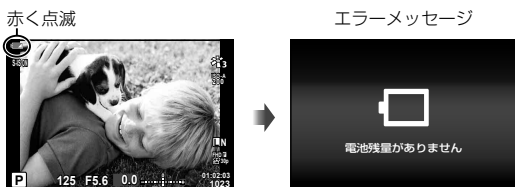


- 充電が完了したら、必ずUSB-ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 海外での充電については「海外での使用について」(P.118)をご覧ください。
- 付属または当社指定以外のUSBケーブルは絶対に使用しないでください。発煙や発火の恐れがあります。
- 電池については「電池の取扱いについて」(P.148)、およびUSB-ACアダプターについては「USB-ACアダプターの取扱いについて」(P.148)をご覧ください。
- 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、ケーブルを再接続してください。
- モニターに「接続されていません」と表示された場合は、一度ケーブルを外し、再度接続してください。
- 付属の充電池は充電器(UC-92：別売)を使って充電することもできます。



## 電池の充電時期

図のエラーメッセージが表示されたら電池を充電してください。

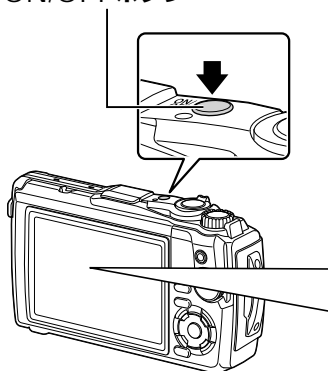


## 電源を入れる

### 1 ON/OFFボタンを押して電源を入れます。

- 電源が入ると動作ランプ、モニターが点灯します。

### ON/OFFボタン



### モニター

#### 電池残量

電池残量のアイコンが表示されます。

- 点灯(緑)：撮影できます。
- 点灯(緑)：電池が減っています。
- 点滅(赤)：充電してください。



### カメラのスリープ動作について

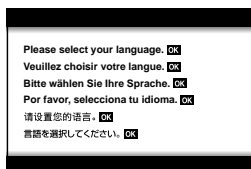
1分間何も操作しないとスリープモード(待機状態)になってモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。スリープモードで5分放置すると電源が切れます。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。スリープモードに入るまでの時間は変更できます。🔋【スリープ時間】(P.100)

## 初期設定をする

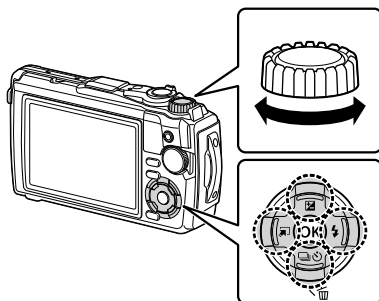
初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

- 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。
- ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

- 1 初期設定画面(言語の設定を促す画面)が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



- 2 十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ またはコントロールダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。



- 言語を選択する画面は、2ページで構成されています。十字ボタンの $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ またはコントロールダイヤルでカーソルを移動して、ページを切り換えられます。



### 3 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**[OK]** ボタンを押します。

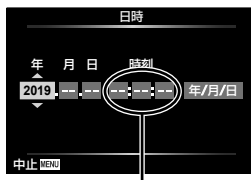
- **[OK]** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影待機状態になります。その場合、一度カメラの電源を切ってから入れ直すと初期設定画面が再度表示されますので、手順1から操作を行ってください。



- 言語の設定は、**[i]** セットアップメニューで後から変更できます。**[i]** **[表示言語を設定する (言語)]** (P.95)

### 4 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- 十字ボタンの **[<|>]** で項目を選択します。
- 十字ボタンの **[Δ]** **[▽]** またはコントロールダイヤルで内容を選択します。
- **[OK]** ボタンを押して日付／時刻を確定します。
- 日時の設定は、**[i]** セットアップメニューで後から変更できます。**[i]** **[日時設定]** (P.94)



時刻は24時間表示です。

### 5 十字ボタンの **[Δ]** **[▽]** またはコントロールダイヤルで地域を選び、**[OK]** ボタンを押します。

- **[INFO]** ボタンで サマータイムの設定ができます。



- カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時が初期状態にリセットされる場合があります。
- ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。**[i]** **[動画フレームレート]** (P.87)

## 言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

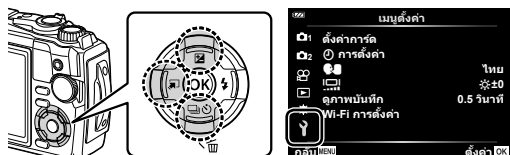
画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。

次の手順で言語の設定を変更してください。

- 1 MENUボタンを押し、メニューを表示します。



- 2 十字ボタンの△▽◀▶で▼タブを選択し、OKボタンを押します。



- 3 十字ボタンの△▽で[言語]を選択し、OKボタンを押します。



- 4 十字ボタンの△▽◀▶で設定したい言語を選択し、OKボタンを押します。



## カードを初期化する

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。

すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。P.15「使用できるカード」(P.15)

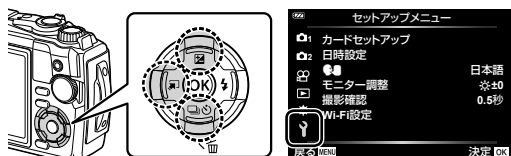
1

準備する

### 1 MENUボタンを押し、メニューを表示します。

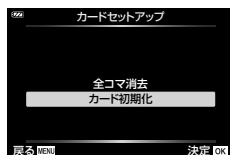


### 2 十字ボタンの△▽◀▶でYタブを選択し、OKボタンを押します。



### 3 十字ボタンの△▽で[カードセットアップ]を選択し、OKボタンを押します。

- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。[カード初期化]を選択し、OKボタンを押します。



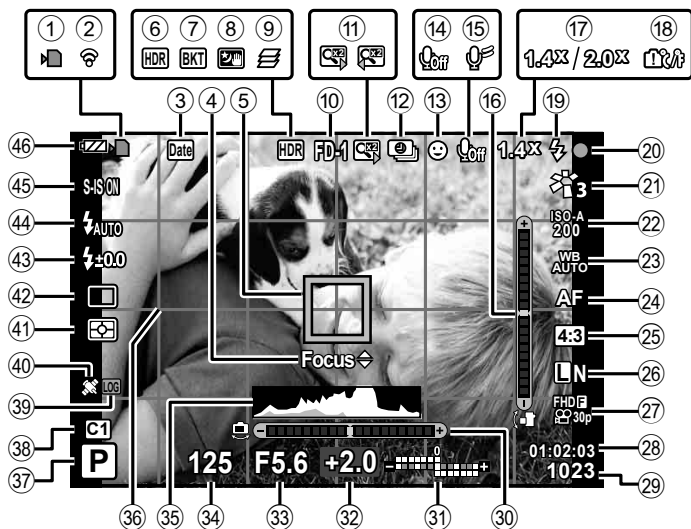
### 4 [実行]を選択し、OKボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

## 2 撮影する

### 撮影時の情報表示


#### 静止画像撮影時のモニター表示



#### ムービーモード中のモニター表示

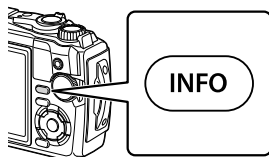



① カード書き込み中.....	P.14	②⑥ 画質モード(静止画).....	P.56
② 無線LAN接続状態.....	P.106-110	②⑦ 画質モード(ムービー).....	P.57
③ 日付写し込み.....	P.86	②⑧ 録画可能時間.....	P.119
④ AF微調整操作ガイド.....	P.46, 55	②⑨ 撮影可能枚数.....	P.119
⑤ AFターゲット.....	P.25, 82	③⑩ 水準器(水平方向).....	P.24, 102
⑥ HDR撮影.....	P.29, 33	③⑪ 上：フラッシュ補正.....	P.59
⑦ ブラケットアイコン.....	P.32, 85	下：露出補正.....	P.40
⑧ 手持ち夜景.....	P.28	③⑫ 露出補正值.....	P.40
⑨ 深度合成.....	P.32	③⑬ 絞り値.....	P.35
⑩ アクセサリー.....	P.61, 126	③⑭ シャッター速度.....	P.34
⑪ デジタルテレコン*1.....	P.41	③⑮ ヒストグラム.....	P.24
⑫ インターバル撮影.....	P.84	③⑯ 野線.....	P.96
⑬ 顔優先.....	P.60	③⑰ 撮影モード.....	P.27-38
⑭ ムービー録音.....	P.37, 72, 87	③⑱ カスタムモード.....	P.36
⑮ 風切り音低減.....	P.87	③⑲ LOGアイコン／LOG警告アイコン.....	P.113
⑯ 水準器(垂直方向).....	P.24, 102	④⑩ GPSアイコン.....	P.111
⑰ 光学ズーム倍率／像倍率*1.....	P.26, 32	④⑪ 測光方式.....	P.60
⑱ 内部温度上昇警告.....	P.133	④⑫ 連写／セルフタイマー.....	P.42
⑲ フラッシュ.....	P.45	プロキャプチャー.....	P.44
(点滅：充電中、点灯：充電完了)		④⑬ フラッシュ補正.....	P.59
⑳ 合焦マーク.....	P.25	④⑭ フラッシュモード.....	P.45
㉑ ピクチャーモード.....	P.50, 81	④⑮ 手ぶれ補正.....	P.59
㉒ ISO感度.....	P.52	④⑯ 電池残量.....	P.17
㉓ ホワイトバランス.....	P.53	④⑰ 録音レベルメーター.....	P.38
㉔ AF方式.....	P.55		
㉕ アスペクト比.....	P.55		


\*1  顕微鏡コントロール (P.32) 使用時は常に表示されます。

## 情報表示を切り換える

撮影待機状態でINFOボタンを押すと、撮影時の情報表示の切り換えができます。

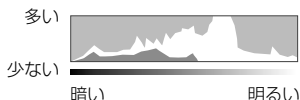


\*  (ムービーモード)の撮影待機中は表示されません。

- カスタム表示1とカスタム表示2の設定は変更できます。 **[LV-Info]** (P.102)
- INFOボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。

### ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は露出オーバーの部分を赤、露出アンダーの部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。



### 水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。バーが緑色で表示されたとき、カメラは水平・垂直になります。


- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示に誤差がある場合は、水準器調整 (P.100) を行ってください。

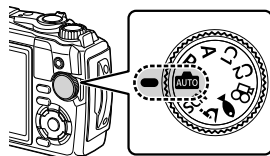


## 簡単に撮影する

シャッターボタンを押すだけで、撮影シーンに適した撮影ができます。

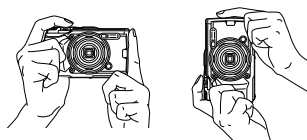
### 静止画を撮る(オートモード)

- 1 モードダイヤルを  に設定します。



- 2 カメラを構えて構図を決めます。

- レンズやAFイルミネーターに指やストラップがかからないよう、ご注意ください。

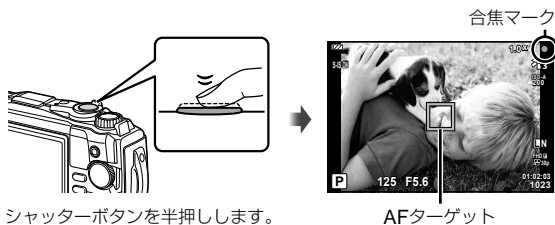


横位置

縦位置

- 3 ピントを合わせます。

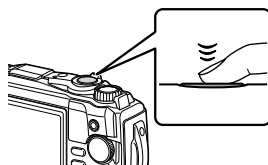
- 被写体がモニター中央にくるようにして、シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます(半押し)。  
合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑の枠(AFターゲット)が表示されます。



- 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていないです。(P.131)

## 4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッターが切れ、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。



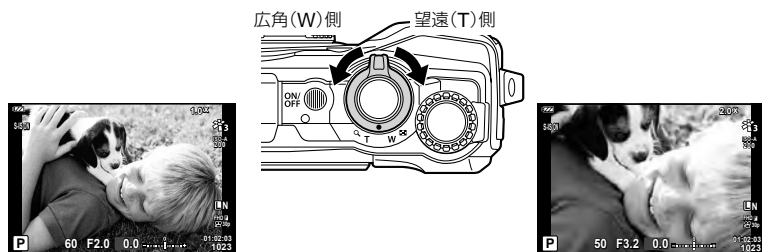
シャッターボタンを全押しします。

### メモ

- メニュー操作中、再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影待機状態になります。

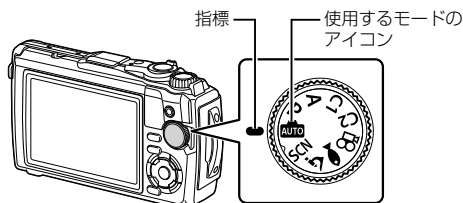
## ズームを使う

遠くのを拡大(望遠)して撮影したり、広い範囲(広角)を撮影することができます。ズームレバーを回すと、撮影する範囲を調整できます。



## 撮影モードを選択して撮影する

モードダイヤルを使って撮影モードを選択して撮影します。



2

撮影する

## 撮影モードの種類

各撮影モードの使い方は以下をご覧ください。

撮影モード	内容	📖
	カメラが自動的に最適な撮影モードを設定します。	P.25
SCN	被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。	P.28
	被写体に1cmまで接近して撮影できます。また深度の深い画像の記録や、撮影枚数などを設定したフォーカスブラケット撮影もできます。	P.32
	被写体や撮影シーンに合わせてサブモードを選択するだけで、適切な設定で水中撮影ができます。	P.33
P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。	P.34
A	絞り値を設定すると、カメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。	P.35
C1	撮影設定を[リセット／カスタム登録] (P.80) で保存すると、その設定を呼び出して撮影できます。 • C1、C2のそれぞれに設定を保存できます。	P.36
C2		
	ムービー撮影ができます。	P.38

### メニューで選択できない機能について

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選択できない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合 「撮影モード設定可能一覧」 (P.136)
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合  
モードダイヤルを に設定していると、ピクチャーモードが選択できないなど













## 撮影シーンに応じた設定で撮影する(SCNモード)

モードダイヤルをSCNに設定し、お好みのシーンモードを選択するだけで被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。

- **[ライブコンボジット]**と**[パノラマ]**は他のシーンモードと使い方が異なりますので、詳しくはそれぞれ「**[ライブコンボジット]**で撮影する」(P.30)、「**[パノラマ]**で撮影する」(P.31)をご覧ください。

2

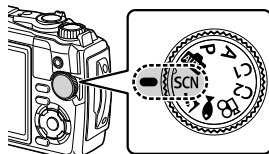
撮影する

撮影シーン	シーンモード	内容
人を撮る	 ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	 eポートレート	肌をなめらかに整えます。HDTVで見るのに適しています。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	 風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。三脚の使用と <i>OI.Share</i> を使ったリモート撮影をおすすめします。(P.107, 108)
	 キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
夜景を撮る	 夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。三脚の使用と <i>OI.Share</i> を使ったリモート撮影をおすすめします。(P.107, 108)
	 夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。三脚の使用と <i>OI.Share</i> を使ったリモート撮影をおすすめします。(P.107, 108)
	 手持ち夜景	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。 1回の撮影で8枚撮影して合成します。
	 打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。三脚の使用と <i>OI.Share</i> を使ったリモート撮影をおすすめします。(P.107, 108)
	 ライブコンボジット	自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。 長時間露出では全体が明るくなってしまうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。 • 撮影方法は「 <b>[ライブコンボジット]</b> で撮影する」(P.30)をご覧ください。
動きのあるものを撮る	 スポーツ	動きのある被写体の撮影に適しています。連写撮影になります。
	 キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。

撮影シーン	シーンモード	内容
風景を撮る	風景	風景撮影に適しています。
	夕日	夕日の撮影に適しています。
	ビーチ&スノー	晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。
	パノラマ	複数の画像をつなぎ合わせたパノラマ画像を撮影できます。 ● 撮影方法は「 <b>[パノラマ]</b> で撮影する」(P.31)をご覧ください。
室内で撮る	HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。
	キャンドルライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	eポートレート	肌をなめらかに整えます。HDTVで見るのに適しています。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	HDR逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。

- シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- **[eポートレート]**では、記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが**[RAW]**のときは、RAW+JPEGで記録されます。
- **[手持ち夜景]**では、画質モードが**[RAW]**のとき、RAW+JPEGで1枚目のRAW画像と合成されたJPEG画像が記録されます。
- **[HDR逆光補正]**では、HDR処理された画像はJPEGで記録されます。画質モードが**[RAW]**のときはRAW+JPEGで記録されます。
  - シャッター速度が遅くなる条件で撮影すると、画像にノイズが目立つ場合があります。
  - 三脚などでカメラを固定して撮影すると、より効果的です。
  - 撮影中にモニターに表示される画像は、HDR処理された画像とは異なります。
  - ピクチャーモードは**[Natural]**に、カラー設定は**[sRGB]**に固定されます。

- 1 モードダイヤルをSCNに設定します。



- 2  $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルで撮影シーンを選択し、 $\odot$  ボタンを押します。



- 3  $\triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルでシーンモードを選択し、 $\odot$  ボタンを押して設定します。

- $\odot$  ボタンを押して設定する前にMENUボタンを押すと、撮影シーン選択画面に戻ります。
- 他のシーンを選ぶときは、 $\blacktriangleleft$  ボタン ( $\triangleleft$ ) を押します。



- 4 撮影します。

## [ライブコンポジット]で撮影する

- 1 モードダイヤルをSCNに設定します。

- 2  $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルで[夜景を撮る]を選択し、 $\odot$  ボタンを押します。

- 3  $\triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルで[ライブコンポジット]を選択し、 $\odot$  ボタンを押して設定します。

- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- カメラのぶれを抑えるために、しっかりした三脚でカメラを固定し、Ol.Shareを使ったワイヤレスリリースモードによるリモート撮影をおすすめします。(P.108)
- 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。

- 5 シャッターボタンを全押しして撮影します。

- カメラが自動で適切な設定を行い、撮影を開始します。
- シャッターボタンを押してから撮影開始までにタイムラグがあります。
- 一定時間毎に合成された画像が表示されます。

- 6 シャッターボタンをもう一度押して撮影を終了します。

- モニターで画像が変化の様子を確認しながら、最適な仕上がりで撮影を終了します。
- 1回で撮影できる時間は、最長3時間です。

## [パノラマ]で撮影する

- 1 モードダイヤルをSCNに設定します。
- 2 △▽◀▶またはコントロールダイヤルで[風景を撮る]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 ◀▶またはコントロールダイヤルで[パノラマ]を選択し、**OK**ボタンを押して設定します。
- 4 シャッターボタンを押して1コマ目を撮影します。
- 5 2コマ目を撮る方向にカメラをゆっくりと動かします。
  - ターゲットマークが表示されます。
- 6 ポインタをターゲットマークに合わせるようにカメラをゆっくりと動かします。ポインタがターゲットマークと重なると自動的にシャッターが切れます。
  - 2コマだけ合成するときには、**OK**ボタンを押します。
- 7 手順5と同様に3コマ目の画像を撮影します。自動的に合成されます。
  - 撮影を中止する場合は、MENUボタンを押します。







左から右へ画像をつなぐ場合

### メモ

- ピントや露出などは、撮影開始時の設定で固定されます。
- ポインタとターゲットマークが重なる前に、**OK**ボタンを押すか再度シャッターボタンを押すと撮影が終了し、それまでに撮影した画像が合成されます。

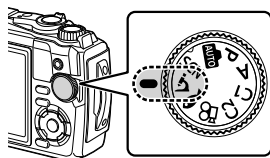
## 被写体に接近して撮影する(Δモード)

被写体に1cmまで接近して撮影できます。また深度の深い画像の記録や、撮影枚数などを設定したフォーカスブラケット撮影もできます。

サブモード	内容
 顕微鏡	被写体に1cmまで接近して撮影できます。
 深度合成*1	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影し、それを合成した深度の深い画像を記録できます。最初の1コマ目と合成画像の2枚が記録されます。合成用の撮影枚数と撮影開始待ち時間は、【深度合成設定】(P.86)で設定します。
 フォーカス BKT	カメラが自動的にピント位置をずらした複数枚の画像を撮影できます。撮影枚数と撮影ステップは、【Focus BKT】(P.85)で設定します。
 顕微鏡 コントロール	被写体を拡大表示して近接撮影するのに最適です。撮影距離が1cmの時の表示倍率をモニターに表示します。▷を押すとモニターの表示が2倍に拡大されます。もう一度押すと4倍に拡大されます。4倍拡大時に▷を押すと解除されます。高倍率では、画像が粗くなります。

\*1 手ぶれや被写体ぶれにより合成できない場合があります。

### 1 モードダイヤルをΔに設定します。



### 2 <Δ>またはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、(OK) ボタンを押します。



### 3 撮影します。

- ピント位置を固定して撮影する場合は、フォーカスロック(P.46)またはMF(P.55)をお使いください。






#### メモ

- モードダイヤルがΔのときに、(L) ボタン(<Δ>)を押すと、サブモード選択画面が表示されます。



## 水中撮影に適した設定で撮影する(🐟モード)

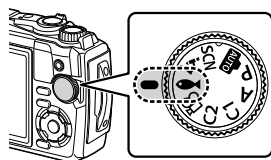
被写体や撮影シーンに合わせてサブモードを選択するだけで、適切な設定で水中撮影ができます。

サブモード	内容
 水中スナップ	自然光を用いた水中での撮影に最適です。
 水中ワイド	水中の景観を撮影するのに最適です。
 水中マクロ	水中での近距離撮影に最適です。
 水中顕微鏡	水中で被写体に1cmまで接近して撮影できます。
 水中HDR	水中で明暗の差が大きいときに適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。動きの速い被写体ではうまくいかない場合があります。

2

撮影する

1 モードダイヤルを🐟に設定します。



2 <D>またはコントロールダイヤルでサブモードを選択し、OKボタンを押します。



3 撮影します。

- ピント位置を固定して撮影する場合は、フォーカスロック(P.46)またはMF(P.55)をお使いください。

### メモ

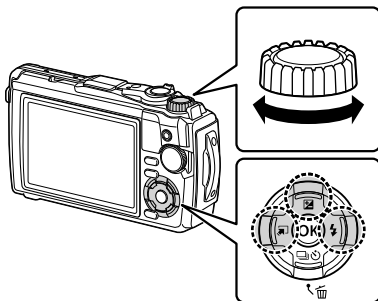
- モードダイヤルが🐟のときに、Dボタン(<D>)を押すと、サブモード選択画面が表示されます。

## 絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pモード)

**P**モードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値、シャッター速度、ISO感度をカメラが自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**P**に設定します。



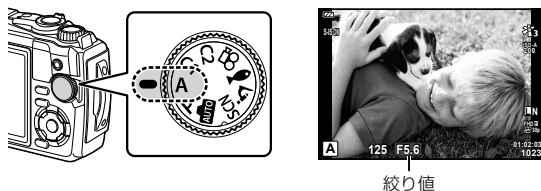
- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。
- コントロールダイヤルを回すか、**OK**ボタン(Δ)を押してから<|>を押すと露出補正(P.40)の設定ができます。



- シャッター速度と絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

## 絞りを決めて撮影する(Aモード)

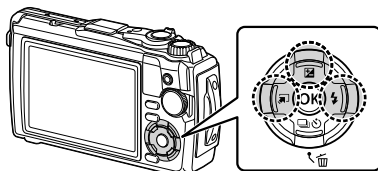
**A**モードは、絞り値を設定するとカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定する撮影モードです。モードダイヤルを**A**にしてから、コントロールダイヤルを回して絞り値を設定します。



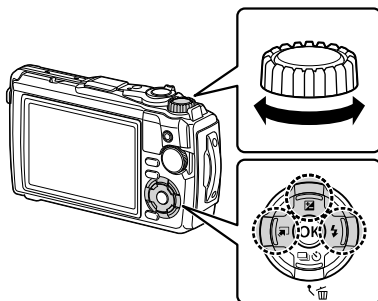
2

撮影する

- ボタン(Δ)を押してからΔ▽で絞り値を変更することもできます。



- ボタン(Δ)を押してから、コントロールダイヤルを回すか<Δ>を押すと露出補正(P.40)の設定ができます。



- シャッター速度が点滅しているときは、適正露出が得られません。

## カスタムモードを使う(カスタムモードC1 / C2)

カスタムモードに設定すると、登録した撮影設定を呼び出して撮影できます。

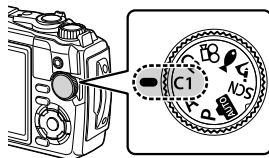
- C1、C2のそれぞれに設定を登録できます。

### 設定を登録する

- 1 登録したい状態にカメラを設定します。
  - モードダイヤルは $\text{M}$  (ムービーモード)以外に設定してください。
- 2 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。
- 3  $\Delta \nabla \leftarrow \rightarrow$ で $\text{C}$ タブを選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。
- 4 [リセット/カスタム登録]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。
- 5 [カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。
- 6 [登録]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。
  - 登録内容が上書きされます。
  - 登録を解除する場合は[クリア]を選択します。


### 登録した設定を呼び出す


- 1 モードダイヤルをC1またはC2に設定します。
  - 撮影メニュー1の[リセット/カスタム登録]で[カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]に登録した設定が呼び出されます。




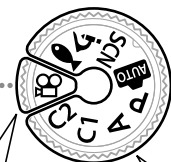
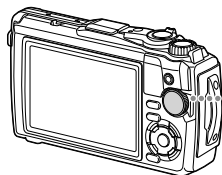
- 2 撮影します。

## ムービーを撮る

このカメラではムービー撮影をするために、ムービー撮影専用の  (ムービー) モードに設定して撮る方法と、静止画の撮影中に簡単にムービーを撮影する方法があります。

撮影は、 (ムービー) ボタンによって行います。

ムービー撮影のために設定する機能やムービー撮影時の情報画面は、モードダイヤルを  (ムービー) モードにしているときに表示されます。




### (ムービーモード) の場合

ムービーを中心に撮影する場合に適しています。

### その他の撮影モードの場合

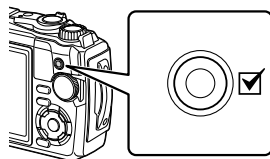
静止画撮影の合間にムービー撮影をする場合に適しています。

- このカメラは撮像素子にCMOSを搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する物理現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。
- 次の場合、 ボタンを押してもムービー撮影はできません。  
シャッターボタン半押し中／連写中／インターバル撮影中／ライブコンポジット中／パノラマ撮影中
- ムービーモードでは、合焦時でもピピッという音はしません。

## 静止画撮影時にムービーを撮る

### 1 ボタンを押してムービー撮影を始めます。

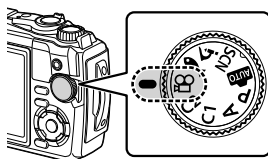
- モニターに撮影中の画像が表示されます。



### 2 再度 ボタンを押してムービー撮影を終了します。

## ムービーモードを使って撮る(📹モード)

- 1 モードダイヤルを📹に設定します。



- 2 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、△▽で📹画質モード(P. 57)を選択します。

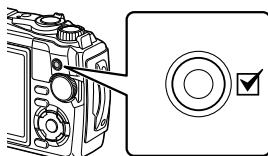


📹画質モード

- 3 **<D>** で設定値を選択し、**OK** ボタンを押します。

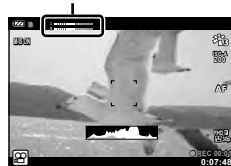
- 4 **📹** ボタンを押して、ムービー撮影を開始します。

- もう一度📹ボタンを押すと、ムービー撮影を終了します。



- ムービー撮影中の録音音量は、録音レベルメーターで確認できます。録音レベルメーターが赤色の方向に伸びるほど、録音音量が大きいことを示しています。
- 録音音量は、📹動画メニューで調整できます。🔊  
[録音レベル調整] (P.87)

録音レベルメーター



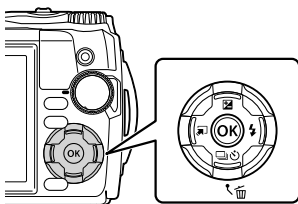
### 📝 メモ

- ムービーモードでは、合焦時でもピピッという音はしません。

## 撮影機能を使う

撮影機能を設定するには、以下の3通りの方法があります。

### ダイレクトボタンで設定する(P. 40)



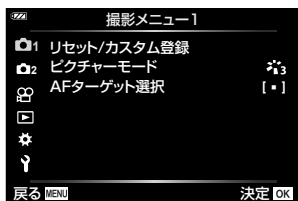
撮影によく使う機能が△▽◀▶に割り当てられています。ボタンを押すだけで、割り当てられた機能をダイレクトに選択できます。撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P.136)

### ライブコントロールで設定する(P. 48)



画面で効果を確認しながら機能を設定します。撮影モードによっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P.136)

### メニューで設定する(P. 78)



撮影／再生時の機能や、日時や画面表示設定などカメラの様々な機能を設定します。

## ダイレクトボタンで設定する機能

撮影によく使う機能が△▽◀▶に割り当てられています。ボタンを押すだけで、割り当てられた機能をダイレクトに選択できます。

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。📷「撮影モード設定可能一覧」(P.136)

### 2

撮影する

## 画像の明るさを変えて撮影する(露出補正)

+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±2.0EVの範囲で補正できます。



撮影モードによって操作方法が異なります。

撮影モード	操作方法
Pモード／カスタムモード／ムービーモード／🐟モード／△モード	コントロールダイヤルを回す または ☑️ボタン(△)を押してから◀▶を押す
Aモード	☑️ボタン(△)を押してからコントロールダイヤルを回す または ☑️ボタン(△)を押してから◀▶を押す

- 📷モード／SCNモードでは、露出補正はできません。

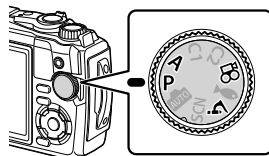


## 被写体を拡大して記録する(デジタルテレコン)

画像の中央部を拡大して記録します。**P/A/∞**モードでは2倍に拡大され、**Δ**モードの $\left[ \begin{smallmatrix} \Delta \\ Q \end{smallmatrix} \right]$  (顕微鏡コントロール)では拡大率を2倍、4倍に切り替えられます。

### 1 モードダイヤルを**P**、**A**、**∞**、**Δ**のいずれかに設定します。

- モードダイヤルを**Δ**に設定した場合は、 $\left[ \begin{smallmatrix} \Delta \\ Q \end{smallmatrix} \right]$  (顕微鏡コントロール)を選択してください。



### 2 モードダイヤルを**P**、**A**、**∞**のいずれかに設定した場合は $\triangleleft$ を押します。

**Δ**に設定した場合は $\triangleright$ を押します。

- モニターの表示は2倍に拡大され、 $\left[ \begin{smallmatrix} \Delta \\ Q \end{smallmatrix} \right]$ が表示されます。画像は拡大された状態で記録されます。もう一度 $\triangleleft$ を押すと解除されます。
- モードダイヤルを**Δ**に設定した場合は、 $\triangleright$ を押すとモニターの表示が2倍に拡大されます。もう一度押すと4倍に拡大され、さらにもう一度押すとデジタルテレコンが解除されます。
- JPEGの画像では、実際に拡大した画像で記録されます。RAW画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。
- 4K、ハイスピードで撮影するときは、記録開始時にデジタルテレコンが解除されます。
- [AFターゲット選択]は[ $\cdot$ ] (シングルターゲット)固定になります。

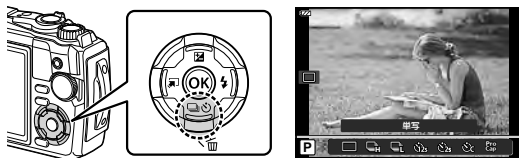
デジタルテレコン












## 連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。



### 1 ボタン(Δ)を押します。



### 2 <D>またはコントロールダイヤルで項目を選択します。

	単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
	連写H	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[連写H]</b>を選んで  ボタンを押す前にINFOボタンを押すと、連写速度を変更できます。連写速度は約10コマ/秒(10fps)、約20コマ/秒(20fps)から選択できます。            Δ▽&lt;D&gt;またはコントロールダイヤルで項目を選択し、 ボタンを押して連写速度を決定します。</li> <li>• フラッシュは発光禁止になります。</li> </ul>
	連写L	シャッターボタンを全押ししている間、約5コマ/秒の速度で連続撮影できます。
	セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
	セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。
	カスタム セルフタイマー	INFOボタンを押して <b>[セルフタイマー時間]</b> 、 <b>[コマ数]</b> 、 <b>[撮影間隔]</b> を設定できます。 <D>で選択し、Δ▽で数値を設定します。 ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
Pro Cap	プロ キャプチャー	シャッターボタン半押しで連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の撮影画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。  「プロキャプチャー」(P.44) <ul style="list-style-type: none"> <li>• フラッシュは発光禁止になります。</li> </ul>

### 3 OK ボタンを押します。

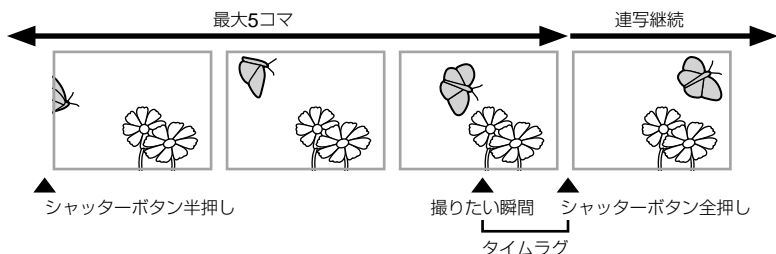
- セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- では、撮影中もライブビューを表示します。では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

#### メモ

- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、MENUボタンを押します。
- セルフタイマーの設定は、撮影が終わっても自動的に解除されません。

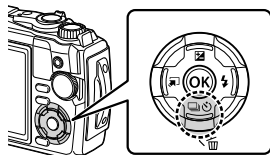
## プロキャブチャー

プロキャブチャーモードは、リリース前約0.5秒から、約10コマ/秒の連写速度で連続撮影を行うモードです。タイムラグによって撮ることが難しかった一瞬を捉えることができます。



シャッターボタンを全押ししてから撮影画像記録開始までのタイムラグを防ぐため、シャッターボタン半押しで電子シャッターを使った連続撮影を開始し、全押しで半押し時の撮影画像(最大で5コマ)を含めた撮影画像をカードへ記録開始します。

- 1 ボタン(▽)を押します。



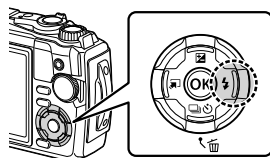
- 2 <D>またはコントロールダイヤルで[Pcap] (プロキャブチャー)を選択し、 ボタンを押します。
- 3 シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。
- 4 シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。

- 半押し状態での連続撮影時間は最長1分です。撮影を続ける場合は、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- シャッター速度の低速側には制限があります。

## フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)

フラッシュを発光させて被写体に光を当てて撮影できます。

- 1 1/2 ボタン(▷)を押します。



- 2 ◁▷またはコントロールダイヤルでフラッシュ発光モードを選択し、OK ボタンを押します。

AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
1/2	発光	フラッシュを必ず発光させます。
1/2	赤目軽減	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。
1/2	発光禁止	フラッシュは発光しません。
1/2 SLOW	赤目Slow スローシンクロ (先幕シンクロ+ 赤目軽減発光)	スローシンクロと赤目軽減発光を併用します。
1/2 SLOW	Slow スローシンクロ (先幕シンクロ)	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
1/2 FULL、1/4 など	マニュアル 発光量変更	マニュアルでフラッシュ撮影するときに選択します。【マニュアル発光量変更】を選択し、OK ボタンを押す前にINFO ボタンを押すと、△▽◁▷またはコントロールダイヤルで発光量を選択できます。
1/2 RC	リモート コントロール	専用水中フラッシュやオリンパスワイヤレスRCフラッシュを使って撮影します。詳細は「オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る」(P.125)をご参照ください。
1/2	LED発光	撮影時にLEDが点灯します。近距離撮影に効果的です。

- [1/2] (赤目軽減) では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、[1/2] (赤目軽減) の効果が得られないことがあります。
- [1/2 SLOW (Slow)] では、シャッター速度が遅くなります。カメラを三脚で固定してください。
- 撮影モードや撮影設定によっては選択できない項目があります。P.136「撮影モード設定可能一覧」(P.136)

## ピントを固定する(フォーカスロック)

ピントを合わせたい位置に固定することができます。

- 1 シャッターボタンを半押しし、被写体にピントを合わせます。
- 2 シャッターボタンを半押ししたまま **OK** ボタンを押します。
  - そのままピントがロックされます。

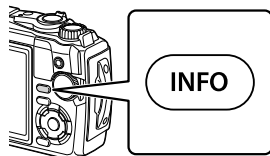


- ロックしたピントは **Δ** **▽** またはコントロールダイヤルで前後に微調整できます。
- **OK** ボタン、ズーム操作、MENU操作などを行うとロックは解除されます。
- SCNモードの【**ライブコンボジット**】(P.28, 30)の場合、シャッターボタンを半押しして合焦マークが点滅しているときに **OK** ボタンを押すと、ピントを無限遠に設定できます。
- **AUTO** モード、一部のSCNモードでは使用できません。

## ワンタッチライトを使う

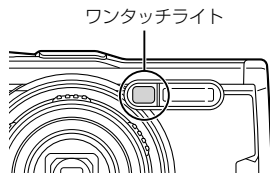
瞬間的に発光するフラッシュとは異なり、常時点灯させることができます。また、簡易懐中電灯としても使用できます。

### 1 INFOボタンを長押しします。



### 2 ワンタッチライトが点灯したらボタンを放します。

- カメラの電源が切れている場合も点灯します。



### ■ 電源ON時の点灯時間

点灯した状態でボタン操作を続けると、最長で約90秒間点灯します(ボタン操作をしていない状態では最長30秒)。

- ムービー撮影中も使用できます。ただし、4Kムービーの撮影中はワンタッチライトが無効になります。

### ■ 電源OFF時の点灯時間

ボタン操作の有無にかかわらず、最長で約30秒間点灯します。

- 以下の場合、ワンタッチライトが自動的に消灯します。
  - ON/OFFボタンを操作したとき
  - LOGレバーを操作したとき
  - メニュー画面を表示したとき
  - USBケーブルを抜き差ししたとき
  - Wi-Fi接続したとき

### ワンタッチライトを消すには

ワンタッチライトが消灯するまでINFOボタンを押します。

## ライブコントロールで設定する機能

ライブコントロールは、画面で効果を確認しながら設定できる操作画面です。

- 設定した内容はP/A/☿モードで共有されます。

ライブコントロール画面



### 設定できる機能

ピクチャーモード .....	P.50	📷手ぶれ補正*3 .....	P.59
シーンモード*1 .....	P.28	☿手ぶれ補正*2 .....	P.59
ISO感度 .....	P.52	フラッシュ *3*4 .....	P.45
ホワイトバランス .....	P.53	フラッシュ補正*3 .....	P.59
AF方式 .....	P.55	連写/セルフタイマー .....	P.42
アスペクト比 .....	P.55	測光*3 .....	P.60
📷画質モード .....	P.56	顔優先 .....	P.60
☿画質モード .....	P.57	アクセサリ .....	P.61

\*1 シーンモードの場合のみ表示されます。

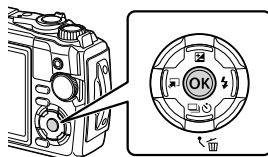
\*2 ムービーモードの場合のみ表示されます。

\*3 ムービーモードの場合は表示されません。

\*4 PまたはA、🐠 (水中モード)、🔍 (顕微鏡モード)間で撮影モードを切り換える場合、それぞれのモードで設定した内容は保持され、電源を切ってもリセットされません。

### 1 OKボタンを押してライブコントロールを表示します。

- 再度OKボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。





**2** △▽でカーソルを設定したい機能に移動し、◀▶で設定を選択し(OK)ボタンを押します。

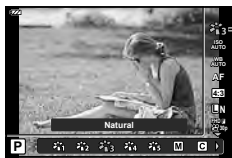
- コントロールダイヤルでも設定を選択できます。
- 何も操作せずに約8秒間経過すると、設定が確定します。



## 画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます(P. 81)。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**でピクチャーモードを選択します。
- 2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。



ピクチャーモード

### ■ ピクチャーモードの種類

	<b>i-Finish</b>	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
	<b>Vivid</b>	色鮮やかに仕上げます。
	<b>Natural</b>	自然な色合いに仕上げます。
	<b>Flat</b>	素材性を重視した仕上がりになります。
	<b>Portrait</b>	肌色をきれいに仕上げます。
	<b>モノトーン</b>	モノクロ調に仕上げます。
	<b>カスタム</b>	仕上がり項目の1つを選択して各パラメータを設定し、登録します。
	<b>eポートレート</b>	肌をなめらかに整えます。ムービー撮影やブラケット撮影では使えません。
	<b>水中</b>	水中写真に合った色鮮やかな色彩に仕上げます。 • <b>[水中]</b> を設定して撮影するときは、 <b>[+WB連動]</b> (P.98)を <b>[Off]</b> に設定することをおすすめします。
	<b>ポップアート</b>	色の美しさを強調した画像になります。
	<b>ファンタジックフォーカス</b>	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な画像になります。
	<b>デイドリーム</b>	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、優しい光に包まれた浮遊感を表現した画像になります。
	<b>ライトトーン</b>	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた画像になります。
	<b>ラフモノクローム</b>	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した画像になります。
	<b>トイフォト</b>	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような画像になります。

ART 7 / 7*	ジオラマ	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外ををぼかし、ミニチュアのような雰囲気の写真になります。
ART 8 / 8*	クロスプロセス	不安定で非現実的な雰囲気を表現した写真になります。
ART 9	ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な写真になります。
ART 10 / 10*	ドラマチックトーン	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した写真になります。
ART 11 / 11*	リーニユクレール	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した写真になります。
ART 12 / 12*	ウォーターカラー	暗部を大胆に削除し、白いキャンバスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気の写真になります。
ART 13 / 13 / 13*	ヴィンテージ	フィルムプリントの変色や退色など、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
ART 14 / 14 / 14*	パートカラー	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。
ART 15 / 15*	ブリーチバイパス	映画撮影などで用いられた「銀残し(ブリーチバイパス)」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
ART 16	ネオノスタルジー	フィルム特有の人物の肌のトーンや暗部の色の変化を、現代風にアレンジして表現します。

\* II、IIIは、オリジナル(I)に対して変化をつけたものです。

- ピクチャーモードを[ART]に設定すると[カラー設定] (P.98)は、[sRGB]に固定されます。

## ■ [パートカラー]で撮影する

特定の色のみの残した画像にできます。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**でピクチャーモードを選択します。
- 2 **<D>**で[パートカラー I / II / III]を選択します。
- 3 INFOボタンを押します。
  - 画面にカラーリングが表示されます。



カラーリング

- 4 **<D>**またはコントロールダイヤルで色を選択します。
  - 画面で効果を確認できます。
- 5 撮影します。

## 感度を変更する(ISO感度)

ISO感度の数値を大きくするとノイズ(ざらつき)が大きくなりますが、暗いところでの撮影が可能になります。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**でISO感度を選択します。
- 2 **<D>**で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。



ISO感度

<b>AUTO</b>	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。カスタムメニューの[ISOオート設定] (P.97)でISO感度の上限などを設定できます。
<b>100 ~ 12800</b>	ISO感度を選択できます。

















## 画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[WB AUTO] (オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[WB AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**でホワイトバランスを選択します。
- 2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。







ホワイトバランス

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
	オート ホワイトバランス	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)。通常はこのモードをお使いください。
	プリセット ホワイトバランス	5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水深約3mまでの浅瀬で撮るとき
		—	水深約3m ~ 15mで撮るとき
		—	水深15m以深で撮るとき • 15m以深では防水プロテクターをお使いください。
		5500K	フラッシュ撮影のとき
	ワンタッチ ホワイトバランス	ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白がグレーの測定できる被写体があり、特性のわからないフラッシュや光源のときや、光源が複数あって特定できないときINFOボタンを押します。  「ワンタッチホワイトバランスの設定」(P.54)
	カスタム ホワイトバランス	2000K ~ 14000K	INFOボタンを押した後、   で色温度を選択し、  ボタンを押します。

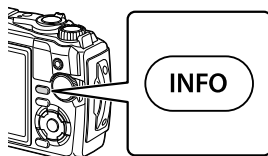
\* 海の天候や状況などにより異なります。

## ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。


- 1 **[], [], []または[]**（ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4）を選択した後、INFOボタンを押します。

- ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。



- 2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。

- 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。

- 3 **[実行]**を選択し、**[]** ボタンを押します。

- ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
- 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

## ピントの合わせ方を設定する(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽** でAF方式を選択します。



AF方式

- 2 **◀▶** で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

<b>AF</b> (オートフォーカス)	シャッターボタンを半押しするとカメラが自動でピントを合わせます。撮影メニューでピントを合わせる範囲を選べます。 • ムービー撮影中は、カメラが常に自動でピントを合わせます。
<b>MF</b> (マニュアルフォーカス)	<b>△▽</b> またはコントロールダイヤルで被写体の任意の位置に手でピントを合わせることができます。撮影待機時に <b>OK</b> ボタンを長押しすると、 <b>MF</b> 操作が可能になります。
(スーパーマクロAF)	被写体に接近してAF操作が可能になります。
(スーパーマクロMF)	被写体に接近してMF操作が可能になります。

- 明るさが不足している、霧などで被写体のがはっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- と は **P/A/☞** モードでのみ設定できます。

## アスペクト比を設定する

撮影時のアスペクト比(横×縦)を変更します。撮影目的に応じた縦横比を **[4:3]** (基準)/ **[16:9]** / **[3:2]** / **[1:1]** / **[3:4]** から選択します。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽** でアスペクト比設定を選択します。



アスペクト比設定

- 2 **◀▶** で設定値を選択し、**OK** ボタンを押します。

- アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。
- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

## 画質を選択する(📷画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選択できます。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**で📷画質モードを選択します。



📷画質モード

- 2 **<D>**で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 選択可能な画質モードはJPEG (**L**/F/**M**/N/**S**)とRAW\*1です。JPEG+RAWの場合、JPEGとRAWの2種類の画像を同時に記録します。\*2JPEGは画像サイズ(**L**/**M**/**S**)と圧縮率(SF/F/N)の組み合わせからできています。

画像サイズ		圧縮率			用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	
<b>L</b> (Large)	4000×3000	<b>L</b> SF	<b>L</b> F	<b>L</b> N	プリントサイズに合わせて選択
<b>M</b> (Middle)	3200×2400	<b>M</b> SF	<b>M</b> F	<b>M</b> N	
<b>S</b> (Small)	1280×960	<b>S</b> SF	<b>S</b> F	<b>S</b> N	小さいプリントやホームページ用

- **L**/F/**M**/N/**S**以外の組み合わせを設定したいときは、カスタムメニューの【画質設定】(P.98)の設定を変更してください。

\*1 画質モードがRAWの場合、次のモードではJPEG+RAWになります。

【📷 水中HDR】 【📷 深度合成】 【📷 eポートレート】 【📷 手持ち夜景】  
【📷 HDR逆光補正】

\*2 JPEG+RAWで撮影した画像のJPEGだけ、またはRAWだけを消去することはできません。消去すると両ファイルともに消去されます(パソコンでJPEGを消去してRAWだけをカメラに戻した場合、RAW編集(P.68, 88)はできますがプリント予約(P.75)はできません)。

### RAW画像とは

写真にする前の未加工の状態で、撮影後に絵作りをしたり、念のために保存しておくためのデータ(拡張子「.ORF」)です。他のカメラや一般のソフトウェアでの再生・表示、プリント予約はできません。このカメラでJPEGにすることができます。📷 「RAW編集/JPEG編集」(P.68)、「RAW画像を編集する(RAW編集)」(P.88)



## 画質を選択する(画質モード)

用途に応じてムービーの画質モードを設定します。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽** で画質モードを選択します。
- 2 **<|>** で設定値を選択し、**OK** ボタンを押します。
  - ムービーの画質モードは、「画像サイズ」、「ビットレート(圧縮率)」、「フレームレート」の組み合わせで構成されています。



画質モード

### ■ 選択できる画質の種類

選択できるムービーの画質は、動画メニュー (P.87) の【動画フレームレート】と【動画ビットレート】の設定によって異なります。

- テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国／地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。
  - NTSC地域：60p (30p)
  - PAL地域：50p (25p)
- MPEG-4 AVC/H.264形式で保存されます。1ファイルは4GBに制限されます。1回の撮影は最長29分に制限されます。
- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 選択する画質モードによって使用できるピクチャーモードが異なります。
- 4K、ハイスピードで撮影するときは、UHS-I のUHSスピードクラス3のカードをご使用ください。
- FHD/HDで撮影するときは、スピードクラス10以上のカードをご使用ください。
- 4Kムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

## 画質モード：4K

4Kサイズのムービー撮影ができます。



- ① 画像サイズ  
4K : 3840×2160
- ② フレームレート  
30p / 25p

## 画質モード：FHD/HD

通常のムービー撮影です。



- ① 画像サイズ  
FHD : 1920×1080  
HD : 1280×720
- ② ビットレート(圧縮率)  
SF (Super Fine) / F (Fine) / N (Normal)
- ③ フレームレート  
60p (30p) / 50p (25p)

## 画質モード：HS (ハイスピード)

スローモーションのムービーを撮影することができます。早いフレームレートで記録し、30fps相当のムービーとして保存します。



- ① 画像サイズ
  - ② フレームレート
- |     |             |        |
|-----|-------------|--------|
| FHD | : 1920×1080 | 120fps |
| HD  | : 1280×720  | 240fps |
| SD  | : 640×360   | 480fps |

- ・ムービー記録中、AF/AEは固定されます。
- ・スローモーションムービーは、最大で20秒間撮影が可能です。
- ・音声は記録されません。
- ・[FHD HS 120fps] / [HD HS 240fps] / [SD HS 480fps] は、 / SCNモードでは設定できません。

## 手ぶれを抑えて撮影する(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。シャッターボタンの半押しから手ぶれ補正が働きます。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽** で手ぶれ補正を選択します。
- 2 **<|>** で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。



手ぶれ補正

静止画	<b>S-IS Off</b>	手ぶれを補正しません。
	<b>S-IS On</b>	流し撮りの方向なども検知して、最適な手ぶれ補正をします。
ムービー	<b>M-IS Off</b>	手ぶれを補正しません。
	<b>M-IS On</b>	手ぶれ補正をします。

- 静止画撮影時、手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- **[M-IS On]** のときは画面の端が切り取られるため、撮影できる範囲が少し狭くなります。
- ムービーの画質モードが **[FHD 1080]** / **[4K 30p]** / **[4K 60p]** の場合は **[M-IS Off]** になります。
- 三脚使用時は手ぶれ補正を **[S-IS Off]** / **[M-IS Off]** に設定してください。
- 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。

## フラッシュの発光量を調節する(フラッシュ発光量補正)

フラッシュの光で被写体が白く飛んでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽** でフラッシュ補正を選択します。
- 2 **<|>** で補正值を設定し、**OK** ボタンを押します。
  - ーの数値が大きいくほど暗く、+の数値が大きいくほど明るく補正します。



フラッシュ補正

- **AUTO** モード、**魚目** モードの **[HDR]** **水中HDR**、**SCN** モードでは無効です。

## 明るさを測る方法を選択する(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**で測光を選択します。



測光

- 2 **△▽**で項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

	<b>ESP</b>	画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をする(画面の中央と周辺を個別に測光します)。強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。
	<b>スポット</b>	逆光のとき中央の被写体を撮影する(画面の中央部分を測光します)。

## 自動的に人物の顔を検出する(顔優先)

カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやデジタルESP測光の調整を行います。

- 1 **OK** ボタンを押して、**△▽**で顔優先を選択します。

- 2 **△▽**で設定を選択し、**OK** ボタンを押します。



顔優先

<b>ON</b>	<b>顔優先On</b>	顔優先AFを行います。
<b>OFF</b>	<b>顔優先Off</b>	顔優先AFを行いません。

## 別売アクセサリーを使う(アクセサリー)

カメラに別売アクセサリーを取り付ける場合に設定します。

**1** **OK** ボタンを押して、**△▽**でアクセサリーを選択します。

**2** **◀▶**で設定を選択し、**OK** ボタンを押します。



アクセサリー

OFF	アクセサリー Off	カメラ本体だけで撮影します。
	<b>PTWC-01</b>	別売の専用アクセサリーに合わせて設定します。
	<b>TCON-T01</b>	
	<b>FCON-T01</b>	
	<b>FCON-T02</b>	
<b>FD-1</b>	<b>FD-1</b>	

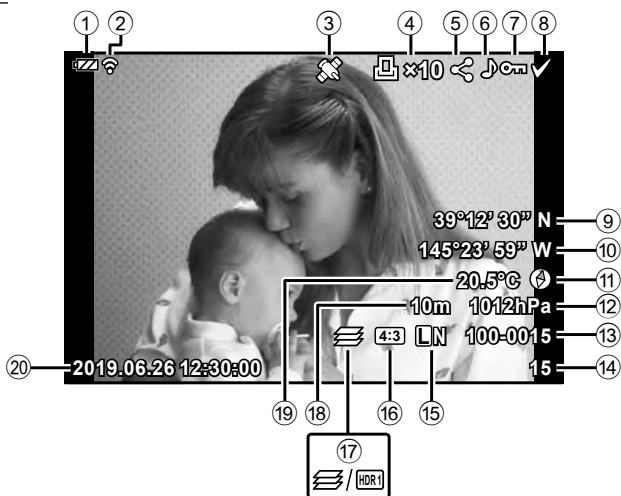
「別売アクセサリーについて」(P.126)

### 3 再生する

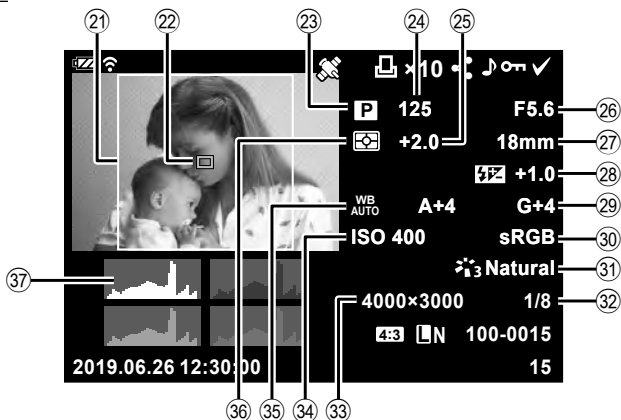
#### 再生時の情報表示

##### 再生画像情報

###### 簡易表示



###### 総合表示

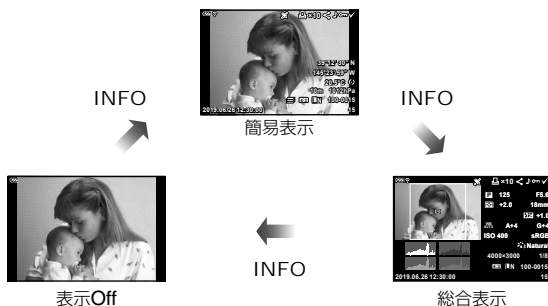
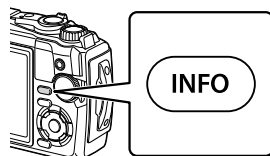


① 電池残量 .....	P.17	①9 温度(水温) .....	P.115
② 無線LAN接続状態 .....	P.106-110	②0 日時 .....	P.18
③ GPS位置情報有り .....	P.112	②1 アスペクト枠*1 .....	P.55
④ プリント予約 プリント枚数 .....	P.75	②2 AFターゲット表示 .....	P.25
⑤ シェア予約 .....	P.71	②3 撮影モード .....	P.27-38
⑥ 録音 .....	P.72, 87	②4 シャッター速度 .....	P.34
⑦ プロテクト(保護) .....	P.71	②5 露出補正 .....	P.40
⑧ 画像選択 .....	P.76	②6 絞り値 .....	P.35
⑨ 緯度 .....	P.115	②7 焦点距離 .....	
⑩ 経度 .....	P.115	②8 フラッシュ補正 .....	P.59
⑪ 方位表示 .....	P.115	②9 ホワイトバランス補正値 .....	P.98
⑫ 気圧 .....	P.115	③0 カラー設定 .....	P.98
⑬ ファイル番号 .....	P.99	③1 ピクチャーモード .....	P.50, 81
⑭ コマ番号 .....		③2 圧縮率 .....	P.105, 119
⑮ 画質モード .....	P.56	③3 ピクセルサイズ .....	P.105, 119
⑯ アスペクト比 .....	P.55	③4 ISO感度 .....	P.52
⑰ 深度合成 / HDR画像 .....	P.32 / P.29, 33	③5 ホワイトバランス .....	P.53
⑱ 標高 / 水深 .....	P.115	③6 測光方式 .....	P.60
		③7 ヒストグラム .....	P.102

\*1 画質モードをRAWに設定してアスペクト比を4:3以外に設定した場合のみ表示されます。

## 情報表示を切り換える

INFOボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。




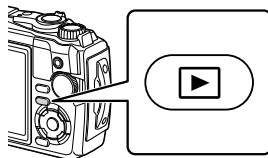
- 再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示を追加できます。


📷 [Info] (P.102)

## 撮った画像／ムービーを見る

### 1 ボタンを押します。

- 撮影した画像が表示されます。
- コントロールダイヤルや十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタン半押しまたは  ボタンを押すと撮影モードに戻ります。



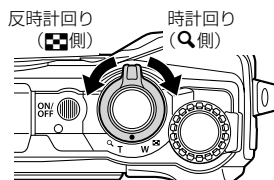
コントロール ダイヤル	1コマ再生：コマ戻し(⏮)／コマ送り(⏭) クローズアップ再生：クローズアップしたままコマ送り、コマ戻しができます。 インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生：コマ送り(▶)／コマ戻し(◀) クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 INFOボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り(▶)戻し(◀)ができます。 もう一度INFOボタンを押すと拡大枠が表示され、△▽◀▶で拡大枠の位置を変更できます。 インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択
ズームレバー	反時計回りに回すとインデックス再生／カレンダー再生します。 時計回りに回すとクローズアップ再生します。
INFOボタン	画像情報の表示
 ボタン(▽)	画像の消去
OKボタン	メニューの表示(クローズアップ再生中／カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)
Ⓢ ボタン(☑)	複数の画像を選択し、一括して【プロテクト】・【選択コマ消去】・【選択コマシェア予約】をすることができます。☑「画像の選択(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.76)



## インデックス再生／カレンダー再生

1コマ再生でズームレバーを反時計回り(☒側)に回すとインデックス再生します。さらに回すとインデックス再生のコマ数が増え、最後にカレンダー再生に変わります。

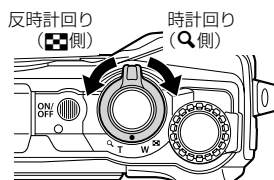
- $\Delta$   $\nabla$   $\triangleleft$   $\triangleright$  またはコントロールダイヤルでカーソルを移動させます。
- ズームレバーを時計回り(☒側)に回すと、カレンダー再生、インデックス再生、1コマ再生の順に再生画面が戻ります。
- カレンダー再生時に(OK)ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。



- インデックス再生のコマ数を変更できます。☒ [☒表示] (P.103)

## クローズアップ再生

1コマ再生でズームレバーを時計回り(☒側)に回すと2倍から最大14倍まで拡大表示され、反時計回り(☒側)に回すと縮小表示されます。(OK)ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。



- $\Delta$   $\nabla$   $\triangleleft$   $\triangleright$  を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
- 拡大表示中にINFOボタンを押してから $\triangleleft$   $\triangleright$ を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度INFOボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。

## ムービーを再生する

ムービーを選択して $\odot$ ボタンを押すとメニューが表示されます。[ムービー再生]を選択し、 $\odot$ ボタンを押すとムービー再生が始まります。



### 再生中の操作

一時停止する	$\odot$ ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に $\odot$ ボタンを押すと、再生を再開します。
早送りする	$\triangleright$ を押すと、早送りをします。さらに $\triangleright$ を押すと、早送りの速度が早くなります。
巻き戻しする	$\triangleleft$ を押すと、巻き戻しします。さらに $\triangleleft$ を押すと、巻き戻しの速度が早くなります。
音量を調節する	$\Delta \nabla$ で音量を調節します。

### 一時停止中の操作

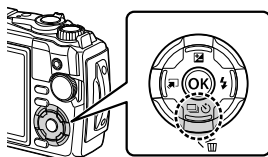
頭出しする	$\Delta$ で先頭のコマを、 $\nabla$ で最後尾のコマを表示します。
コマ送りする／ コマ戻しする	$\triangleleft \triangleright$ を押すかコントロールダイヤルを回すと、コマ送り／コマ戻しします。 $\triangleleft \triangleright$ を押し続けると、再生／逆再生します。
再生を再開する	$\odot$ ボタンを押すと、再生を再開します。

### ムービー再生を中止するには

MENUボタンを押します。

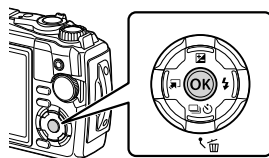
## 再生中の画像を消去する

消去したい画像を再生し、 $\text{trash}$ ボタン( $\nabla$ )を押します。  
[実行]を選択し $\odot$ ボタンを押すと消去されます。



## 再生メニューを使う

画像の再生中に $\odot$ ボタンを押すと再生メニューが表示されます。使いたい機能を選択し、 $\odot$ ボタンを押して決定します。選択中の画像の種類によって表示される機能が異なります。



	RAW	JPEG	RAW+JPEG	ムービー
♪再生	○	○	○	×
RAW編集	○	×	○	×
JPEG編集	×	○	○	×
ムービー再生	×	×	×	○
ムービー編集	×	×	×	○
シェア予約	×	○	○	○
プロテクト	○	○	○	○
録音	○	○	○	×
回転	○	○	○	×
スライドショー	○	○	○	○
画像合成	○	×	○	×
プリント予約	×	○	○	×
1コマ消去	○	○	○	○

## ♪再生

録音した音声(P.72)と静止画を同時に再生します。

**1** 音声録音した静止画を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

**2** [♪再生]を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

- 録音音声の再生が始まります。
- $\odot$ ボタンまたはMENUボタンを押すと再生を終了します。
- 録音音声の再生中に $\Delta$ / $\nabla$ を押すと音量調節ができます。

## RAW編集／JPEG編集

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。

### 1 再生画面で編集する静止画を表示し、**OK**ボタンを押します。

- RAW画像の場合は**[RAW編集]**、JPEG画像の場合は**[JPEG編集]**が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したい方のメニューを選択します。

### 2 **[RAW編集]**または**[JPEG編集]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

RAW編集	現設定	現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。
	ART BKT	<p>選択したアートフィルターの設定で編集されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ボタンを押すと、画像にかけるアートフィルターを選択するメニューが表示されます。使用するアートフィルターを選択し、<b>OK</b>ボタンを押して✓を付けます。設定を終えたらMENUボタンで前の画面に戻ります。<b>[ART BKT]</b>を選択して<b>OK</b>ボタンを押すと、編集した画像がカードに記録されます。</li> </ul> <p>同じ元画像で再度編集するときは、<b>[再設定]</b>を選択して<b>OK</b>ボタンを押します。編集を終了するときは、<b>[中止]</b>を選択して<b>OK</b>ボタンを押します。</p>
	中止	画像編集を中止します。
JPEG編集	階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
	赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
	トリミング	画像をトリミングします。コントロールダイヤルでトリミングサイズ、△▽◁▷でトリミング位置を指定します。
	アスペクト	アスペクト比が4:3 (基準)の画像のアスペクト比を <b>[3:2]</b> / <b>[16:9]</b> / <b>[1:1]</b> / <b>[3:4]</b> に変更します。アスペクト比変更後、△▽◁▷でトリミング位置を指定します。
	モノクロ作成	白黒に変換します。
	セピア作成	セピア色に変換します。
	鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
	リサイズ	画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3 (基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
	eポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

### 3 設定を完了したら $\odot$ ボタンを押します。

- 画像に設定が反映されます。

### 4 [実行]を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

- 編集された画像がカードに記録されます。

- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。

パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像

- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- 画像によっては[リサイズ]を使用できないことがあります。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。

## ムービー再生

選択中のムービーを再生します。🔍 「ムービーを再生する」(P.66)

## ムービー編集

ムービーを編集できます。

### ■ ムービーから静止画を切り出す(静止画切り出し)

撮影時のアスペクト比が[16:9]で画質モードが4Kの本機で撮影したムービーからコマを選択し、静止画として保存できます。

#### 1 再生画面で編集するムービーを表示し、 $\odot$ ボタンを押します。

#### 2 [ムービー編集]を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

#### 3 $\Delta$ で[静止画切り出し]を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

#### 4 $\triangleleft$ で静止画として保存するコマを表示し、 $\odot$ ボタンを押します。

- $\Delta$ でジャンプ操作が可能です。
- MENUボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。

## ■ ムービーをトリミングする(トリミング)

本機で撮影したムービーをトリミングし、上書きして保存、または別のムービーとして新規に保存できます。

- 1 再生画面で編集するムービーを表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **【ムービー編集】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 **△▽**で**【トリミング】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 4 **【上書き保存】**または**【新規作成】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
  - 画像がプロテクトされている場合は、**【上書き保存】**は選択できません。
- 5 **◀▶**で先頭のフレームまたは最後のフレームのどちらから削除するかを選択し、**OK** ボタンを押します。
  - コントロールダイヤルを回すと、先頭のコマまたは最後尾のコマを表示します。
- 6 **◀▶**で削除する範囲を指定します。
  - 赤く表示された部分が削除されます。
- 7 **OK** ボタンを押します。
- 8 **【実行】**を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。

## シェア予約

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。また、シェア予約をつけると、**OI.Share**でその画像だけを閲覧することもできます。

転送したい画像を再生して $\odot$ ボタンを押すと、メニューが表示されます。**【シェア予約】**を選択して $\odot$ ボタンを押した後、 $\Delta$ または $\nabla$ を押すと画像にシェア予約がつき、 $\hookrightarrow$ が表示されます。

シェア予約を解除するには $\Delta$ または $\nabla$ を押します。あらかじめ転送したい画像を選択し、一括してシェア予約をつけることもできます。 $\text{Ⓔ}$ 「画像の選択(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.76)

- RAW画像はシェア予約はできません。

### $\text{Ⓔ}$ メモ

- $\text{Ⓔ}$ セッアップメニューですべてのシェア予約を一括して解除できます。 $\text{Ⓔ}$ 「シェア予約を解除する」(P.110)

## プロテクト

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して $\odot$ ボタンを押すと、メニューが表示されます。**【プロテクト】**を選択して $\odot$ ボタンを押したあと、 $\Delta$ または $\nabla$ を押すと画像がプロテクトされます。 $\text{Ⓔ}$  (プロテクトマーク)が表示されます。プロテクトを解除するには $\Delta$ または $\nabla$ を押します。

あらかじめプロテクトしたい画像を選択し、一括してプロテクトすることもできます。 $\text{Ⓔ}$ 「画像の選択(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)」(P.76)

- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

プロテクトマーク



## 録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

### 1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。

### 2 **[録音]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、**[中止]**を選択してください。



### 3 **[録音スタート]**を選択して**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

### 4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には♪が表示されます。



- 録音した音声を消去する場合は、手順3で**[消去]**を選択してください。

## メモ

- 音声録音は再生メニュー (P.88)からも設定できます。
- 録音した音声は**[♪再生]** (P.67)で再生できます。

## 回転

撮影した画像を回転させることができます。

### 1 再生画面で画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

### 2 **[回転]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

### 3 **△** (反時計回り)、**▽** (時計回り)を押すたびに画像が回転します。

- **OK**ボタンを押して、設定を終了します。
- 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
- ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。



## スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

- 1 再生画面で $\odot$  ボタンを押します。
- 2 [スライドショー]を選択し、 $\odot$  ボタンを押します。



- 3 スライドショーの設定をします。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	[Party Time]、または[Off]を設定します。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定します。

- 4 [スタート]を選択し、 $\odot$  ボタンを押します。

- スライドショーが始まります。
- スライドショーの再生中に $\Delta$   $\nabla$ を押すと、全体の音量が調節できます(カメラのスピーカーでの再生時のみ)。音量調節表示中に $\triangleleft$   $\triangleright$ を押すと、画像やムービーに録音した音量とBGMのバランスを調節できます。
- $\odot$  ボタンを押すとスライドショーが停止します。

### [Party Time]以外のBGMについて

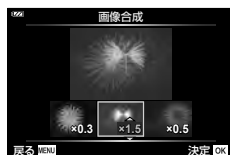
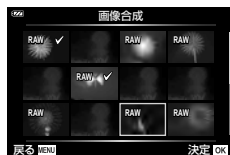
[Party Time]以外のBGMを使うには、当社ホームページからダウンロードしたデータをカードに記録して、手順3で[BGM]から選択します。ダウンロードについては下記のホームページをご覧ください。

<http://support.olympus-imaging.com/bgmdownload/>

## 画像合成

撮影したRAW画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。  
保存時の画質モードで保存されます。([RAW]の場合は[■N+RAW]で保存されます。)

- 1 再生画面で画像を表示し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [画像合成]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 合成するコマ数を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 4 **△▽<▷**で合成するRAW画像を選択し、**OK**ボタンを押します。
  - 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。
- 5 合成する各画像のゲイン(明るさ)を選択します。
  - **<▷**で画像を選択し、**△▽**で数値を変更します。
  - ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。
- 6 **OK**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。  
[実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。



### メモ

- 画像をRAW形式で保存し、繰り返し[画像合成]を行うと、4コマ以上の画像合成が可能です。

## プリント予約

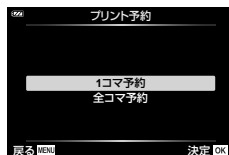
プリントしたい画像や枚数などをあらかじめ指定しておくと、その情報がカードに保存されます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約にはカードが必要です。

- 1 再生画面で画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **【プリント予約】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 **【1コマ予約】**または**【全コマ予約】**を選択し、**OK** ボタンを押します。

### 1コマ予約の場合

**◀▶**を押してプリント予約したいコマを選択し、**△▽**を押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら**OK**ボタンを押します。



### 全コマ予約の場合

**【全コマ予約】**を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 4 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。



- 5 **【予約する】**を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

## 1コマ消去

再生中の画像を消去します。

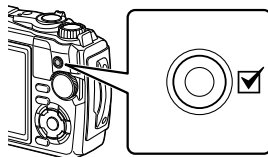
- 1 再生画面で消去する画像を表示し、**OK** ボタンを押します。
- 2 **【1コマ消去】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 **【実行】**を選択し、**OK** ボタンを押します。
  - 画像が消去されます。

## 画像の選択(プロテクト・選択コマ消去・選択コマシェア予約)

複数の画像を選択し、一括して[プロテクト]・[選択コマ消去]・[選択コマシェア予約]をすることができます。

- 1 再生画面で選択したい画像を表示するか、インデックス再生画面(P.65)で選択したい画像にカーソルを移動します。

- 2 ☒ ボタンを押します。



- 選択した画像には✔が表示されます。もう一度押すと解除されます。



- 3 ☒ ボタンを押してメニューを表示します。
- 4 [選択コマシェア予約]・[プロテクト]・[選択コマ消去]から選択し、☒ ボタンを押します。

## パノラマ画像をスクロール再生する

複数の画像をつなぎ合わせたパノラマ画像をスクロール再生することができます。

**1** 1コマ再生でパノラマ画像を選択します。

**2** ズームレバーを時計回りに回します。

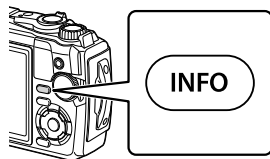
- $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$  を押すと、押したボタンの方向にスクロールします。



3

再生する

- パノラマ画像のスクロール再生中、さらにズームレバーを時計回りに回すと2倍から最大14倍まで拡大表示され、反時計回りに回すと縮小表示されます。 $\odot$  ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 2倍以上の拡大表示中にINFOボタンを押してから $\triangleleft \triangleright$ を押すと、表示中の拡大倍率を固定したまま画像を選択できます。再度INFOボタンを押すと、画面をスクロールできる状態に戻ります。コントロールダイヤルを回しても画像の選択ができます。



# 4 メニューの機能

## メニューの基本操作

メニューでは、ライブコントロールなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

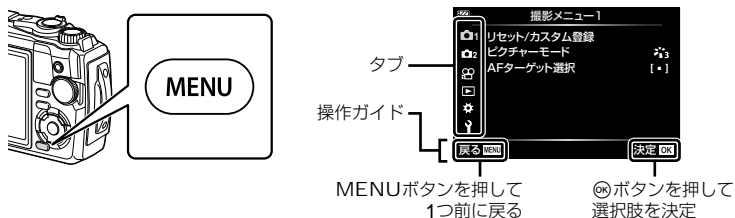
	撮影の準備と撮影の設定 (P.80)
	ムービーモードの設定 (P.87)
	再生や編集に関する設定 (P.88)
	カメラのカスタマイズの設定 (P.96)
	日付や言語などのカメラ設定 (P.94)

### メニューで選択できない機能について

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選択できない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合 「撮影モード設定可能一覧」 (P.136)
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合  
モードダイヤルを に設定していると、ピクチャーモードが選択できないなど

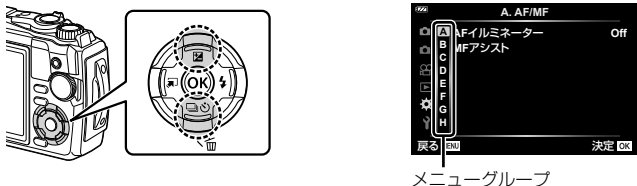
## 1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。



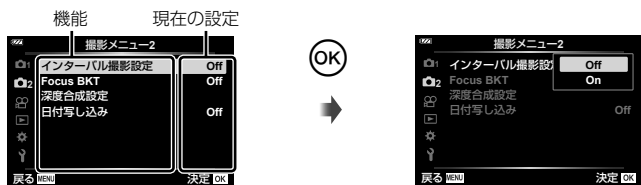
- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。
- INFOボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。

## 2 △▽でタブを選択し、**OK**ボタンを押します。

- ✳カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。  
△▽でメニューグループを選択し、**OK**ボタンを押します。



## 3 △▽で機能を選択し**OK**ボタンを押して、各設定画面に進みます。



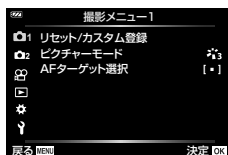
## 4 △▽で設定値を選択し**OK**ボタンを押して、設定内容を確認します。

- 繰り返しMENUボタンを押して、メニューを終了します。

### メモ

- 各機能の初期設定については、「初期設定／カスタム一覧」(P.140)をご覧ください。

## 撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2を使う



### 撮影メニュー 1

- 1 リセット/カスタム登録  
ピクチャーモード(P.50, 81)  
AFターゲット選択(P.82)

### 撮影メニュー 2

- 2 インターバル撮影設定(P.84)  
Focus BKT (P.85)  
深度合成設定(P.86)  
日付写し込み(P.86)

## 撮影機能を初期設定に戻す・お気に入りの設定を登録する (リセット／カスタム登録)

### ■ カメラの設定を初期値に戻す(リセット)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。[初期設定／カスタム一覧] (P.140)

- 1 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム登録]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 2 [リセット]を選択し、**OK**ボタンを押します。
- 3 リセットの種類([フル]と[標準])を選択し、**OK**ボタンを押します。

フル	日付や言語など一部を除いたすべての設定値をリセットします。
標準	撮影に関する基本的な機能をリセットします。

- 4 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。



## ■ お気に入りの設定を登録する

現在のカメラの設定を、2つのカスタムモードに登録できます。

### 1 登録したい状態にカメラを設定します。

- モードダイヤルは $\text{M}$  (ムービーモード)以外に設定してください。

### 2 $\text{M}$ 撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム登録]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。

### 3 [カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。

### 4 [登録]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。

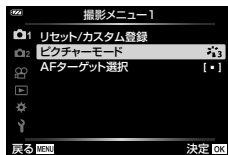
- 登録内容が上書きされます。
- 登録を解除する場合は[クリア]を選択します。
- 登録した設定は、モードダイヤルをC1またはC2に設定すると簡単に呼び出すことができます。 $\text{M}$  「カスタムモードを使う(カスタムモードC1 / C2)」(P.36)

## 画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

[ピクチャーモード] (P.50)の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

### 1 $\text{M}$ 撮影メニュー 1で、[ピクチャーモード]を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。

- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。





### 2 $\Delta$ $\nabla$ で項目を選択し、 $\text{OK}$ ボタンを押します。

- 各項目でさらに $\triangleright$ を押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。
- [標準]以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。









## ピントを合わせる範囲を選択する(AFターゲット選択)

AFを行う位置や範囲を変更できます。

 (オールターゲット)	すべてのAFターゲットからカメラが自動的にピントを合わせるAFターゲットを選択します。
 (シングルターゲット)	1つのAFターゲットを選択します。
自動追尾	動いている被写体に自動でピントを合わせ続けます。

### ■ ピントの位置を自分で決める(ターゲット選択)

ピント合わせに使うAFターゲットの位置を変更できます。

- 1  撮影メニュー 1で、**[AFターゲット選択]**を選択し、 ボタンを押します。
- 2 **[ ·  ]]**を選択し、 ボタンを押します。
- 3 **△▽◀▶**でAFターゲットの位置を選択し、 ボタンを押します。
  - 選択中に ボタンを長押しすると、AFターゲットが中央に戻ります。
  - 撮影待機時にAFターゲットの位置を変更する場合は、 ボタンを長押しします。
  - アスペクト比(P.55)の設定により、AFターゲットの数や大きさが変わります。
  - デジタルテレコン使用時は、AFターゲットの位置を変更できません。

## ■ 動いている被写体にピントを合わせ続ける(自動追尾)

動いている被写体に自動でピントを合わせ続けることができます。

- 1 撮影メニュー 1で、[AFターゲット選択]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 2 [自動追尾]を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 3 MENUボタンを押して撮影画面に戻ります。
- 4 AFターゲットを被写体に合わせて、シャッターボタンを半押ししたまま**OK** ボタンを押します。
- 5 被写体を認識すると、被写体の動きに合わせてAFターゲットが動き、自動でピントを合わせ続けます。
  - 中止するときは、**OK** ボタンを押します。
  - 被写体や撮影状況によっては、ピントを固定できなったり、被写体を追尾できなくなることがあります。
  - 被写体を追尾できなくなったときは、AFターゲットが赤く点灯します。
  - デジタルテレコン使用時は、[I・I] (シングルターゲット)になります。

## 一定時間ごとに自動的に撮影する(インターバル撮影)

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。

- 1 撮影メニュー 2で[インターバル撮影設定]を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 2 [On]を選択し、**▷**を押します。

- 3 以下の設定をします。

コマ数	2 ～ 299 (コマ)	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	00:00:00 ～ 24:00:00	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影間隔	00:00:00 ～ 24:00:00	撮影開始後の撮影の間隔を設定します。
タイムラプス動画	Off	一連のコマの記録形式を設定します。 [Off]: それぞれのコマを静止画として記録します。
	On	[On]: 静止画で記録するのと同時に、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	ムービーサイズ	[ムービーサイズ]: タイムラプスムービーのサイズを設定します。
	フレームレート	[フレームレート]: タイムラプスムービーのフレームレートを設定します。


- 画面に表示される開始予定時間や終了予定時間は目安です。撮影条件などによって異なる場合があります。
- 各項目で値を選んで**OK** ボタンを押すと、設定されます。

- 4 設定を終えたら**OK** ボタンを押します。

- 5 [Off] / [On]の選択画面に戻りますので、[On]が選択されていることを確認し、もう一度**OK** ボタンを押します。





- 6 撮影します。

- 【撮影確認】(P.94)は0.5秒で動作します。
- 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を1分31秒以上にすると、1分でモニターを消灯してカメラの電源が切れます。撮影10秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、ON/OFF ボタンを押しても復帰します。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。

- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。  
モードダイヤル/MENUボタン/  ボタン/USBケーブルを接続/電源オフ
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いいただくか、撮影が長時間になる場合はUSB-ACアダプターをお使いください。USB-ACアダプターをお使いの場合、カメラに電池を挿入した状態で、USBケーブルを接続した後に表示される画面で**[充電]**を選択してください。モニターの消灯後、ON/OFFボタンを押すと再度モニターが点灯し、充電しながら撮影できます。
- [タイムラプス動画設定]**の**[ムービーサイズ]**で**[4K]**を選択して生成されたムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

## ピント位置を少しずつ変化させて撮影する(Focus BKT)

自動的にピント位置を変えながら、1回の撮影で10/20/30コマ撮影します。

- 1  撮影メニュー 2で**[Focus BKT]**を選択し、 ボタンを押します。
- 2 **[On]**を選択し、 を押します。
- 3 以下の設定をして ボタンを押します。

撮影開始待ち時間	0 ~ 30秒	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影枚数	10/20/30 (コマ)	ブラケット撮影の枚数を設定します。
フォーカスステップ	狭い/標準/ 広い	一コマごとにずらすピント位置の間隔を設定します。

### 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。


### 5 シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 1コマごとにピント位置を変えながら、**[撮影枚数]**で設定したコマ数を撮影します。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせた位置とその前後でピントを移動させて撮影します。
- ブラケット撮影中は**[BKT]**が緑色で表示されます。
- ピント位置が $\infty$ (無限遠)に達すると撮影が終了します。
- AFターゲットは**[I・I]** (シングルターゲット)に固定されます。
- 露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。

## ピント位置を変えて撮影した画像を合成する(深度合成設定)


設定した枚数分を自動的にピント位置を変えながら連続撮影し、1枚の画像に合成します。1コマ目に撮影された画像と合成された画像の2枚が記録されます。

1  撮影メニュー 2で[深度合成設定]を選択し、 ボタンを押します。

2 以下の設定をして ボタンを押します。

撮影開始待ち時間	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影枚数	合成用に撮影する枚数を設定します。 • 1コマ目に撮影される画像は含まれません。

3 モードダイヤルを $\Delta$ に設定します。

4  $\triangleleft \triangleright$ で[深度合成]を選択し、 ボタンを押します。

5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- 合焦マークが点滅したときはピントが合っていません。
- ピント位置を固定して撮影する場合は、フォーカスロック(P.46)またはMF(P.55)をお使いください。


6 シャッターボタンを全押しして撮影します。



- AFターゲットは[ $\square$ ・ $\square$ ]に固定されます。
- 露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。


## 静止画撮影時に日付を写し込む(日付写し込み)

静止画に日付や時刻を写し込んで撮影します。

Off	日付や時刻を写し込みません。
日付	日付を写し込みます。
時刻	時刻を写し込みます。
日付+時刻	日付と時刻を写し込みます。

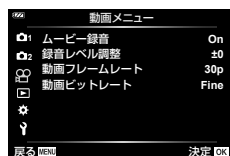
- 画像に写し込んだ日付や時刻を削除することはできません。
- 日時設定を行っていない場合は使用できません。 「初期設定をする」(P.18)
- 次の場合は無効です。

RAW画像(JPEG+RAWの場合を含む) / ムービー / SCNモードのeポートレート、手持ち夜景、ライブコンポジット、パノラマ、HDR逆光補正 /  $\Delta$ モードの深度合成、フォーカスBKT /  モードの水中HDR / ピクチャーモードの[ART] / モードダイヤル 時の静止画撮影 / 連写 / 再生メニューの[編集]で編集された画像

- [日付写し込み]を設定するとが表示されます。

## 動画メニューを使う

動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



メニュー項目	説明	37
ムービー録音	<p>[Off]：ムービー撮影中に音声を録音しません。</p> <p>[On]：ムービー撮影中に音声を録音します。</p> <p>[On ]：ムービー撮影時に風切り音を低減しながら録音します。</p>	37
録音レベル調整	内蔵マイクの感度を設定します。マイクが拾っている音量の過去数秒間のピーク値を音量レベルバーで確認しながら、 $\Delta$ $\nabla$ で感度を調整します。	—
動画フレームレート	<p>ムービー撮影時のフレームレートを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとスムーズに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国／地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NTSC地域：60p (30p)</li> <li>PAL地域：50p (25p)</li> </ul> </li> </ul>	57
動画ビットレート	ムービー撮影時の圧縮率を選択します。	57

4

メニューの機能(動画メニュー)

- ムービー録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。
- ハイスピードムービー、ピクチャーモードの<sup>AGT</sup>(ジオラマ)では、ムービー録音できません。
- ムービー録音が[Off]のときは、が表示されます。

## 再生メニューを使う

### 再生メニュー

スライドショー (P.73)

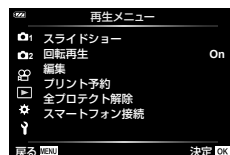
回転再生

編集

プリント予約(P.75)

全プロテクト解除(P.93)

スマートフォン接続(P.107)



## 4

### 画像を回転して再生する(回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

### 撮影した画像を加工する(編集)

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像をつくります。
JPEG編集	JPEG画像をもとに加工をして、新たにJPEG画像を作ります(P.90)。

### ■ RAW画像を編集する(RAW編集)

- 1 再生メニューで[編集]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 [画像選択]を選択し、 ボタンを押します。
- 3 で編集する静止画を選択し、 ボタンを押します。
  - 編集メニューが表示されます。
  - 選択した画像がRAW画像でないときは表示されません。別の画像を選択してください。



## 4 [RAW編集]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 設定方法のメニューが表示されます。

## 5 設定方法([現設定]と[ART BKT])を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 選択した設定方法によって、手順が異なります。

**現設定：** 現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。露出補正など、一部の設定は反映されません。

- OK**ボタンを押します。
  - 現在のカメラの設定が反映されます。
- [実行]**を選択して**OK**ボタンを押します。
  - 編集した画像がカードに記録されます。

**ART BKT：** 選択したアートフィルターの設定で編集されます。

- ▷**ボタンを押します。
  - 画像にかけるアートフィルターの選択メニューが表示されます。
- 使用するアートフィルターを選択し、**OK**ボタンを押します。
  - 選択したアートフィルターに**✓**が付きます。
- MENU**ボタンを押して前の画面に戻ります。
- [ART BKT]**を選択して**OK**ボタンを押します。
  - 編集した画像がカードに記録されます。

## 6 同じ元画像で再度編集するときは、**[再設定]**を選択して**OK**ボタンを押します。編集を終了するときは、**[中止]**を選択して**OK**ボタンを押します。

- [再設定]**を選択したときは、画面に設定方法のメニューが表示されます。手順4から繰り返します。
- ピクチャーモードをアートフィルターに設定すると、**[カラー設定]**は**[sRGB]**に固定されます。
- 次の場合はRAW編集できません。
  - カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- RAW編集したい画像を再生して編集をすることもできます。**⏮** **[RAW編集 / JPEG編集]** (P.68)

## ■ JPEG画像を加工する(JPEG編集)

【JPEG編集】では以下の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
トリミング	画像をトリミングします。コントロールダイヤルでトリミングサイズ、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が4:3(基準)の画像のアスペクト比を[3:2]/[16:9]/[1:1]/[3:4]に変更します。アスペクト比変更後、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3(基準)以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
eポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。  
パソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合／他のカメラで撮影した画像
- 【リサイズ】では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- 画像によっては【リサイズ】を使用できないことがあります。
- 【トリミング】 / 【アスペクト】は、アスペクト比が4:3(基準)の画像のみ編集できます。

1  $\square$ 再生メニューで【編集】を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

2  $\Delta \nabla$ で【画像選択】を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

3  $\triangleleft \triangleright$ で編集する静止画を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

- 編集メニューが表示されます。
- 選択した画像がJPEG画像でない場合、【JPEG編集】は表示されません。別の画像を選択してください。

4 【JPEG編集】を選択し、 $\odot$ ボタンを押します。

- 編集メニューが表示されます。

## 5 △▽で項目を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 設定が画像に反映されて確認できます。メニューが表示される項目では、△▽で設定を選択します。
- 【トリミング】を選択したときは、コントロールダイヤルでサイズを設定、△▽<|>でトリミング位置を設定できます。
- 【アスペクト】を選択したときは、△▽<|>で位置を設定できます。

## 6 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 編集された画像がカードに記録されます。

## ■ 音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。

画像再生時の**[録音]**と同じ機能です(P.72)。

## ■ 画像合成

撮影したRAW画像を最大3コマまで重ねて合成し、別の画像として保存します。

保存時の画質モードで保存されます。(【RAW】の場合は**[■N+RAW]**で保存されます。)

### 1 **▶**再生メニューで**[編集]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

### 2 △▽で**[画像合成]**を選択し、**OK**ボタンを押します。

### 3 合成するコマ数を選択し、**OK**ボタンを押します。

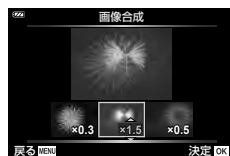
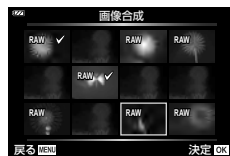
### 4 △▽<|>で合成するRAW画像を選択し、**OK**ボタンを押します。

- 手順3で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。

### 5 合成する各画像のゲイン(明るさ)を選択します。

- <|>で画像を選択し、△▽で数値を変更します。
- ゲインは0.1～2.0まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。

### 6 **OK**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。















## メモ

- 画像をRAW形式で保存し、繰り返し**[画像合成]**を行うと、4コマ以上の画像合成が可能です。
















## ムービーから静止画を切り出す(静止画切り出し)

撮影時のアスペクト比が[16:9]で画質モードが4Kの本機で撮影したムービーからコマを選択し、静止画として保存できます。

- 1 再生メニューで[編集]を選択し、ボタンを押します。
  - 2 で[画像選択]を選択し、ボタンを押します。
  - 3 でムービーを選択し、ボタンを押します。
  - 4 [ムービー編集]を選択し、ボタンを押します。
  - 5 で[静止画切り出し]を選択し、ボタンを押します。
  - 6 で静止画として保存するコマを表示し、ボタンを押します。
    - でジャンプ操作が可能です。
    - MENUボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
- 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。




## ムービーをトリミングする(トリミング)

本機で撮影したムービーをトリミングし、上書きして保存、または別のムービーとして新規に保存できます。

- 1  再生メニューで[編集]を選択し、 ボタンを押します。
- 2  画像選択]を選択し、 ボタンを押します。
- 3  でムービーを選択し、 ボタンを押します。
- 4 [ムービー編集]を選択し、 ボタンを押します。
- 5  画像選択]で[トリミング]を選択し、 ボタンを押します。
- 6 [上書き保存]または[新規作成]を選択し、 ボタンを押します。
  - 画像がプロテクトされている場合は、[上書き保存]は選択できません。
- 7  で先頭のフレームまたは最後のフレームのどちらから削除するかを選択し、 ボタンを押します。
  - コントロールダイヤルを回すと、先頭のコマまたは最後尾のコマを表示します。
- 8  で削除する範囲を指定します。
  - 赤く表示された部分が削除されます。
- 9  ボタンを押します。
- 10 [実行]を選択し、 ボタンを押します。
  - 保存した画像の撮影日時は、実際に撮影した日時と異なる場合があります。

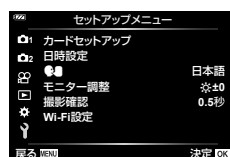
## 全プロテクト解除

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

- 1  再生メニューで[全プロテクト解除]を選択し、 ボタンを押します。
- 2 [実行]を選択し、 ボタンを押します。

## セットアップメニューを使う

🔧 セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。



メニュー項目	説明	🔧
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します。	21, 95
日時設定	日時を設定します。	18
🗨️ (言語切り換え)	モニターのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語以外の言語に設定できます。	95
モニター調整	モニターの明るさを調整します。△▽で設定値を選択します。	—
撮影確認	撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。 [0.3秒] ~ [20秒]：画像を表示する時間を指定します。 [Off]：記録中の画像は表示されません。 [Auto📺]：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。	—
Wi-Fi設定	本機の無線機能を使って、Wi-Fi接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	109, 110

## 全コマを消去する(カードセットアップ)

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

- 1 Yセットアップメニューで、[カードセットアップ]を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 2 [全コマ消去]を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 3 [実行]を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 全コマ消去が実行されます。

## 表示言語を設定する(●●)

モニターのメニュー表示やエラーメッセージを、他の言語に設定します。

- 1 Yセットアップメニューで、[●●]を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 2  $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。

- 言語を選択する画面は、2ページで構成されています。 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$  またはコントロールダイヤルでカーソルを移動して、ページを切り換えられます。

- 3 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。



## カスタムメニューを使う

★カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

### カスタムメニュー

- A** AF/MF
- B** 表示/音/接続
- C** 露出/ISO (P.97)
- D** フラッシュ (P.98)
- E** 画質/WB/色 (P.98)
- F** 記録 (P.99)
- G** フィールドセンサー (P.100)
- H** その他 (P.100)



#### **A** AF/MF

MENU → \* → **A**

メニュー項目	説明	
<b>AFイルミネーター</b>	暗い場所でもピントを合わせやすくするための設定です。	101
<b>MFアシスト</b>	フォーカスロック時やマニュアルフォーカス時にピント位置を変更したとき、ピント合わせを補助します。	101

#### **B** 表示/音/接続

MENU → \* → **B**

メニュー項目	説明	
<b>Info表示設定</b>	INFOボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。 [ <b>Info</b> ]：再生情報画面の設定 [ <b>LV-Info</b> ]：撮影情報画面の設定 [ <b>表示</b> ]：インデックス表示/カレンダー表示の設定	102, 103
<b>LVブースト</b>	[ <b>Off</b> ]：露出補正等の設定を反映した明るさで、画面に被写体を表示します。 [ <b>On</b> ]：露出補正等の設定を反映せず、適正露出に近い明るさで画面に被写体を表示します。	—
<b>フリッカー低減</b>	ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[ <b>オート</b> ]で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて[ <b>50Hz</b> ] [ <b>60Hz</b> ]に設定します。	—
<b>表示罫線選択</b>	[ <b>方眼</b> ]、[ <b>黄金分割</b> ]から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。	—
<b>ピーキング色</b>	輪郭強調の色(赤・黄・白・黒)を変更できます。	101
<b>電子音</b>	△▽で電子音の音量を調整できます。「0」に設定すると、シャッターボタンを押してピントが合ったときや、シャッターが切れるときの音を鳴らさないようにできます。	—



メニュー項目	説明	🔍
HDMI	<p><b>[出力サイズ]</b>：HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。</p> <p><b>[HDMIコントロール]</b>：<b>[On]</b>にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使用できます。</p>	104

## 📷 露出/ISO

MENU → ⚙️ → 📷

メニュー項目	説明	🔍
露出基準調整	<p>適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正 (P.40) を行ってください。</li> </ul>	—
ISOオート設定	<p><b>[上限/基準値設定]</b>：ISO感度を<b>[AUTO]</b>に設定したときの上限値と基準値を設定します。</p> <p><b>[上限値]</b>：ISO感度の上限を設定します。</p> <p><b>[基準値]</b>：通常使用するISO感度を設定します。</p> <p><b>[低速限界設定]</b>：<b>P/A</b>モードで、自動でISO感度を上げるシャッター速度を設定します。</p> <p><b>[オート]</b>にするとカメラが自動的に設定します。</p>	—
高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
長秒時ノイズ低減	<p>長時間露出時に発生するノイズを低減します。</p> <p><b>[オート]</b>：長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。</p> <p><b>[On]</b>：常にノイズ低減処理を行います。</p> <p><b>[Off]</b>：ノイズ低減処理を行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。</li> <li>連写設定時は自動的に<b>[Off]</b>になります。</li> <li>撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。</li> </ul>	—

4

メニューの機能(カスタムメニュー)

### 画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。

## D フラッシュ

MENU → \* → D

メニュー項目	説明	
<b>閃+連動</b>	[On]にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます。	40, 59
<b>閃+WB連動</b>	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。 [Off]：ホワイトバランスの設定に従って動作します。 [WB%]：ホワイトバランスは[WB%]（オート）に変更されます。 [WB閃]：ホワイトバランスは[WB閃]（フラッシュ撮影用WB）に変更されます。	—

## 4

## E 画質/WB/色

MENU → \* → E

メニュー項目	説明	
<b>画質設定</b>	JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと3種類の圧縮率の組み合わせから選択します。  1) <b>◀▶</b> で[ <b>1</b> ] ~ [ <b>4</b> ]の画像サイズと圧縮率を選択し、 <b>△▽</b> で値を変更します。  2) <b>OK</b> ボタンを押すと確定されます。   画像サイズ                      圧縮率	56, 105
<b>WBモード</b>	ホワイトバランスの設定をします。 それぞれの設定を微調整しておくこともできます。  1) 微調整したいホワイトバランスモードを選択し、 <b>▷</b> を押します。  2) A方向（赤 - 青）またはG方向（緑 - 赤紫）を選択し、 <b>△▽</b> で値を変更します。  • A方向（赤 - 青）で補正する場合は+方向で赤味がかり、-方向で青味がかった画像になります。  • G方向（緑 - 赤紫）で補正する場合は+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかった画像になります。	53
<b>WBオート 電球色残し</b>	[On]にすると電球色の色味を残します。	—
<b>カラー設定</b>	撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。 [sRGB]：国際電気標準会議（IEC）が定めたRGB色空間の規格。通常は[sRGB]に設定してください。 [AdobeRGB]：アドビシステムズ社が提唱した規格。正しく映像として出力するには、対応したソフトウェア、ディスプレイ、プリンターなどのハードウェアが必要です。	—


メニュー項目	説明	🔍
ファイルネーム	<p>【オート】：カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>【リセット】：新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB : Pmdd0000.jpg ————— Pmdd          AdobeRGB : _mdd0000.jpg ———— mdd</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 【sRGB】または【AdobeRGB】を選択し、▶を押します。</li> <li>2) &lt;▶でカーソルを移動し、△▽で文字を変更します。</li> <li>3) 手順2を繰り返し、すべてを設定したらⓂボタンを押します。</li> </ol>	—
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。</p> <p>【著作権情報記録】：【On】を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。</p> <p>【撮影者入力】：撮影者の名称を入力します。</p> <p>【著作権者入力】：著作権者の名称を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ①の中から文字を選択し、Ⓜボタンを押します。選択した文字は②に表示されます。</li> <li>2) 手順1を繰り返し、すべてを入力したら【END】を選択しⓂボタンを押します。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を消去するには、INFOボタンを押してカーソルを②に移動し、消去したい文字を選択します。再度INFOボタンを押して①に戻り、【Delete】を選択してⓂボタンを押します。</li> </ul>	—



\* 【著作権情報】の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。


## G フィールドセンサー

MENU → \* → G

メニュー項目	説明	
GPS位置情報記録	[On]にすると、撮影した画像にGPS位置情報が記録されます。	—
GPS動作モード	GPS機能の動作モードを設定します。 [精度優先]：GPS機能の精度を優先します。 [省電力優先]：カメラの電池の持続時間を優先します。	—
標高/温度設定	センサー情報を表示するときの温度や標高の単位の選択をします。また表示の調整もできます。 [標高調整]：現在の標高とカメラの標高表示に差異があるときに調整できます。 [m/ft]：標高の表示を、m（メートル）とft（フィート）から選択できます。 [°C/°F]：温度の表示を、°C（摂氏）と°F（華氏）から選択できます。 <div><ol style="list-style-type: none"><li>1) △▽で設定したい項目を選びます。</li><li>2) ▷を押します。</li><li>3) △▽で数値または単位を選び、Ⓢボタンを押して確定します。</li></ol></div>	—

## H その他

MENU → \* → H

メニュー項目	説明	
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	122
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット]：出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション]：現在のカメラの状態位置を0点とします。	—
スリープ時間	設定した時間、カメラを操作しないと、省電力モード（スリープモード）になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	—
認証マーク表示	認証マークを表示します。	—

## 暗い場所でもピントを合わせやすくする(AFイルミネーター)

### MENU → \* → [A] → [AFイルミネーター]

暗い場所でもピントを合わせやすくするため、AFイルミネーター (AF補助光)を発光します。[Off]に設定するとAFイルミネーターを発光しません。

## MFアシスト

### MENU → \* → [A] → [MFアシスト]

MFでのピント合わせを補助する機能です。フォーカスロック時やマニュアルフォーカス時にピント位置を変更したとき、被写体の輪郭を強調したり画面の一部を拡大したりして表示します。

拡大	画面の一部を拡大して表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>画面中央部分を拡大表示します。フォーカスロック(P.46)している場合は、ロックした部分を拡大表示します。</li> </ul>
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色を選択することができます。🔍 [ピーキング色] (P.96)

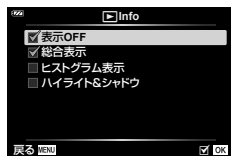
- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。
- [拡大]と[ピーキング]をどちらも[On]に設定すると、被写体によっては輪郭がはっきり見えなくなる場合があります。

## 情報表示の画面を追加する

MENU → \* → B → [Info表示設定]

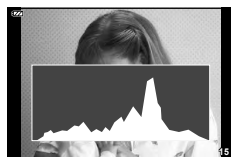
### ■ [Info] (再生情報表示)

[Info]で以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時にINFOボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。[情報表示を切り換える] (P.63)



### ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。



ヒストグラム表示

### ハイライト&シャドウ表示

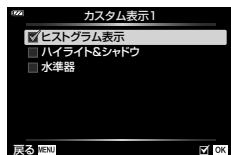
ハイライト&シャドウ表示では、露出オーバーの部分を赤、露出アンダーの部分を青で表示します。



ハイライト&シャドウ表示

### ■ LV-Info (撮影情報表示)

[LV-Info]でヒストグラム表示画面、ハイライト&シャドウ表示画面、水準器表示画面を追加できます。[カスタム表示1]または[カスタム表示2]を選択し、追加する画面にチェックを入れます。追加した画面は、撮影時にINFOボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。[情報表示を切り換える] (P.24)



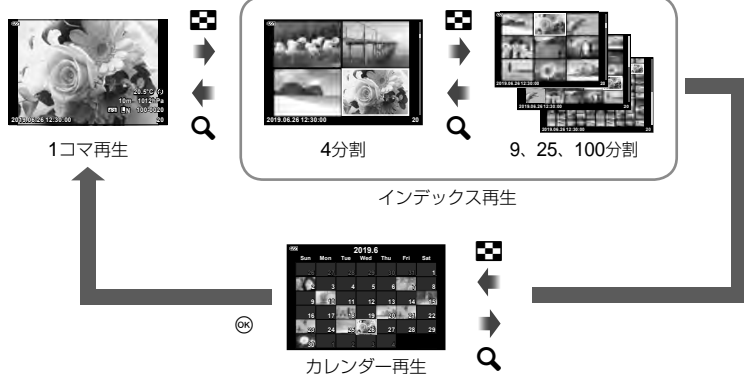
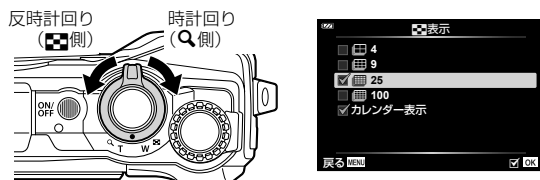
### 水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。バーが緑色で表示されたとき、カメラは水平・垂直になります。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示に誤差がある場合は、水準器調整 (P.100) を行ってください。

## ■ 表示(インデックス／カレンダー表示)

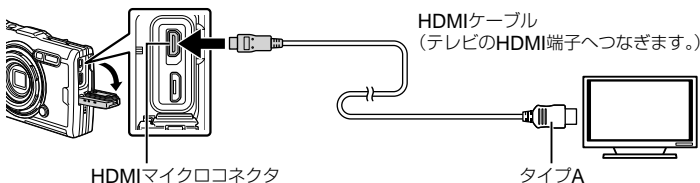
【表示】で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は、画像再生時にズームレバーを繰り返し回すと表示されます。



## カメラの画像をテレビで見る

### MENU → \* → [B] → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。ハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- HDMIケーブルを接続すると、カメラのモニターは消灯します。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択することができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

<b>4K優先</b>	4Kを優先してHDMI出力します。
<b>1080p優先</b>	1080pを優先してHDMI出力します。
<b>720p優先</b>	720pを優先してHDMI出力します。
<b>480p/576p</b>	480p/576p形式でHDMI出力します。

- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。
- 撮影状態のときは信号形式を**[4K優先]**にしていますが、1080p優先で出力されます。

### テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。**[HDMIコントロール]**を**[On]**にしてください。**[On]**に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。

カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの**[赤]**ボタンで情報表示の切り換え、**[緑]**ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。



## JPEGの画像サイズと圧縮率の組み合わせ

### MENU → \* → → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEGの画質モードを設定できます。

画像サイズ		圧縮率			用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	
 (Large)	4000×3000	 SF	 F	 N	プリントサイズに合わせて選択
 (Middle)	3200×2400	 SF	 F	 N	
 (Small)	1280×960	 SF	 F	 N	小さいプリントやホームページ用

# 5 スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能(Wi-Fi)を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがもっと広がります。

- すべてのスマートフォンで動作を保証するものではありません。

## **OLYMPUS Image Share (OI.Share)**

スマートフォンでカメラをリモート操作したり、画像の転送ができます。  
詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>

## **OLYMPUS Image Track (OI.Track)**

カメラで記録したフィールドセンサーログを確認したり管理することができます。  
詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

## **OLYMPUS Image Palette (OI.Palette)**

アートフィルターやカラークリエーターによる編集やトリミングなどの加工ができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oipalette/>

- 無線LAN機能を使用する前に「無線LAN機能について」(P.148)をよくお読みください。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送受信用アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- Wi-Fi転送が遅い場合は、スマートフォンのBluetooth設定をオフにしてお試しください。

## スマートフォンとの接続設定をする

スマートフォンにインストールした専用アプリ“Ol.Share”を起動しておきます。

- 1 再生メニューで[スマートフォン接続]を選択し、ボタンを押します。
  - 撮影待機時にMENUボタンを長押ししても[スマートフォン接続]を開始できます。
- 2 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi接続の準備を進めます。
  - モニターにSSIDとパスワードとQRコードが表示されます。



- 3 Ol.Shareの画面下部に表示されるカメラのマークをタップします。
- 4 Ol.Shareに表示されるガイドに従ってQRコードを読み取り、接続設定を進めます。
  - 一部のスマートフォンではQRコード読み取り後に手動で設定する必要があります。
  - QRコードを読み取れない場合は、Ol.Shareに表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
  - スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのモニターに表示されているSSIDとパスワードを入力して接続します。スマートフォンのWi-Fi設定については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。
  - スマートフォンが他のWi-FiネットワークやWi-Fi機器へ接続している場合、スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDへ接続先を変更する必要があります。
  - 接続すると、画面に1が表示されます。
- 5 接続を終了するには、カメラのMENUボタンを押します。
  - Ol.Shareでカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。

## スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷 「シェア予約」(P.71)

- 1 カメラをスマートフォンと接続する(P.107)。
- 2 Ol.Shareを起動して、写真転送ボタンをタップします。
  - カメラ内の画像が一覧で表示されます。
- 3 転送したい写真を選択し、保存ボタンをタップします。
  - 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。

## スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。

- 1 カメラをスマートフォンと接続する(P.107)。
  - 2 Ol.Shareを起動して、リモコンボタンをタップします。
  - 3 シャッターボタンをタップして撮影します。
    - 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

## 接続の方法を変更する

スマートフォンと接続する方法には、いつも同じ設定で接続する【プライベート】と、接続の度に異なる設定で接続する【ワнтайм】があります。ご自分のスマートフォンと接続するときは【プライベート】、ご友人等のスマートフォンに画像を転送するときは【ワнтайм】が便利です。

初期設定では【プライベート】になっています。

1 iセットアップメニューで【Wi-Fi設定】を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

2 【Wi-Fi接続設定】を選択し、**[▶]**を押します。

3 無線LAN接続の方法を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- 【プライベート】：1台のスマートフォンと接続する（初回の接続設定以降は自動的に接続します）。Ol.Shareのすべての機能が使用できます。
- 【ワнтайм】：複数台のスマートフォンと接続する（毎回異なった接続設定で接続します）。Ol.Shareの写真転送機能のみ使用できます。カメラでシェア予約された画像のみ閲覧できます。
- 【毎回確認】：毎回どちらの方法で接続するかを選択します。
- 【Off】：Wi-Fi機能を使用しません。

## 無線LAN設定の内容をリセットする

【Wi-Fi接続設定】の設定内容を初期化します。

1 iセットアップメニューで【Wi-Fi設定】を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

2 【Wi-Fi設定リセット】を選択し、**[▶]**を押します。

3 【実行】を選択し、**[OK]**ボタンを押します。

- 次の項目が初期化されます。

メニュー項目	初期値
Wi-Fi接続設定	プライベート
プライベートパスワード	—（ランダム生成）*

\* スマートフォンとの接続設定も初期設定（未接続の状態）になります。

## パスワードを変更する

【プライベート】で使うパスワードを変更します。

- 1 iセットアップメニューで**【Wi-Fi設定】**を選択し、**Ⓚ** ボタンを押します。
- 2 **【プライベートパスワード】**を選択し、**▷**を押します。
- 3 操作ガイドに従って**Ⓚ** ボタンを押します。
  - 新しいパスワードに設定されます。
  - パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。📶 「スマートフォンとの接続設定をする」(P.107)

## 5

## シェア予約を解除する

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1 iセットアップメニューで**【Wi-Fi設定】**を選択し、**Ⓚ** ボタンを押します。
- 2 **【全シェア予約解除】**を選択し、**▷**を押します。
- 3 **【実行】**を選択し、**Ⓚ** ボタンを押します。

# 6 フィールドセンサー機能を使う

このカメラでは、位置や標高などのGPSや各種センサー情報を取得し、ログとして記録できます。また、その情報を撮影した静止画にも付与することができます。記録したログは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)で読み込んで利用することができます。

OI.Trackについては、以下のホームページをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

- このカメラは、準天頂衛星システムやGLONASSにも対応しています。
- 位置情報が付与された画像には、緯度と経度が表示されます。
- このカメラにはナビゲーション機能は搭載されていません。
- アプリは最新のバージョンをお使いください。

## GPS機能およびその他の情報表示について

厳密な精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度経度、方角、標高、温度など)に対しての保証はいたしません。また、自然災害などの影響により、情報内容が実際と異なる場合があります。

## GPS機能をお使いのときのご注意

- GPS機能を使用する前に「GPS機能、電子コンパスについて」(P.153)をよくお読みください。
- 国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得をすることは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。  
また国外に持ち出す際には、持ち出す国や地域によって定められた法律があります。必ずそれにしてください。
- 飛行機内などGPS機能の使用を禁止されている場所では、必ずLOGレバーをOFFにし、**【GPS位置情報記録】**(P.100)および**【日時設定】**(P.94)の**【GPS自動日時補正】**を両方とも**【Off】**にしてください。

## GPS機能を使う前に(GPSアシストデータ)

カメラや通信の状態によっては位置情報の取得(測位)に時間がかかることがあります。GPSアシストデータを使うと、測位時間を数秒～数十秒に短縮できます。GPSアシストデータは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)やパソコン用の専用ソフトウェアOLYMPUS A-GPS Utilityを使用しで更新することができます。

あらかじめカメラの日時設定を正しく設定しておいてください。

- カメラのWi-Fi接続設定は**【プライベート】**(P.109)に設定してください。

- GPSアシストデータは4週間ごとに更新が必要になります。データ更新から時間が経つと、測位情報がずれることがありますので、できるだけ新しいGPSアシストデータを使用してください。
- GPSアシストデータの提供は予告なく終了することがあります。

## ■ スマートフォンを使ってGPSアシストデータを更新する

あらかじめスマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)をインストールしてください。GPSアシストデータの更新方法は、下記アドレスをご覧ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

「スマートフォンとの接続設定をする」(P.107)にしたがってスマートフォンと接続してください。OI.Trackの設定画面から**[A-GPSデータの更新]**を実行してください。

- カメラとの接続でエラーが表示されたときは、カメラとスマートフォンの接続をしなおす必要があります。

## ■ パソコンを使ってGPSアシストデータを更新する

下記のアドレスからパソコン用の専用ソフトウェアOLYMPUS A-GPS Utilityをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

<http://sdl.olympus-imaging.com/agps/>

上記アドレスのウェブサイトに掲載されている利用説明書「OLYMPUS A-GPS Utility 利用説明書」に従って、データの更新を行ってください。

- GPSアシストデータを更新していないと、GPS機能をはじめてお使いになる場合や、しばらく使用していなかった場合は測位が完了するまでに数分かかることがあります。

## GPS機能を使うには

次のいずれかの場合にGPS機能が有効になります。

LOGレバーをLOGにする(P.113) / **[GPS位置情報記録]** (P.100)を**[On]**にする / **[日時設定]** (P.94)の**[GPS自動日時補正]**を**[On]**にする

- GPSアンテナ部(P.11)を手や金属で覆わないでください。
- GPSアシストデータを更新していないと、GPS機能を初めてお使いになる場合や、しばらく使用していなかった場合は測位が完了するまでに数分かかることがあります。
- GPS機能を有効にすると、電池の消耗が早くなります。**[GPS動作モード]** (P.100)で**[省電力優先]**に設定すると、消費電力を抑えながらGPS機能を使用できます。

## GPSログを軌跡表示する

GPSログを記録したあとで、OI.Trackを使用して、GPSログの軌跡を表示することができます。

- 移動の軌跡はカメラ本体では表示できません。

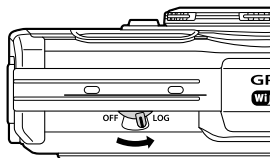


## ログを記録する／保存する

このカメラは、LOGレバーをLOGにすると、GPSや各種センサー情報(P.111)を取得してログに記録します。ログは、スマートフォン用の専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)で読み込んで利用できます。

LOGレバーをLOGに合わせます。

- ログの記録を開始します。記録中は動作ランプが点滅します。



- 電池残量が少なくなると、自動的にログの取得を終了します(P.134)。
- LOGモードにすると、常に測位を継続しているため電池を消耗します。
- ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになると、新たにログを記録することができなくなります(P.134)。その場合はLOGレバーをOFFにして、ログをカードに保存してください。

### ログの保存について

記録したログは、LOGレバーをOFFにしたときカードに保存されます。

- ログの保存中はモニターに保存動作中の画面が表示されます。表示が消えるまでカードを取り出さないでください。保存中にカードを取り出すと、ログファイルが消失したり、カメラやカードに不具合が生じるおそれがあります。
- カメラが無線通信中の場合やカードの容量が不足していたり書き込み禁止になっている場合など、LOGレバーをOFFにしてもログの保存が開始されないことがあります。その場合は、カメラの無線通信を終了したり、カード内の不要なデータを削除するなど、ログの保存が可能な状態にしてください。保存が完了するまではカメラの電池を抜かないでください。
- カメラにカードが入っていないとログを保存しません。
- 電池残量が少ないとログを保存しません。電池を充電してください。
- カードに保存できるログファイル数の上限は199個までです。保存できるファイル数が残り少なくなると、モニターにエラーメッセージが表示されます(P.134)。その場合はカードを交換するか、ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。
- ログファイルは、カード内の「GPSLOG」フォルダと「SNSLOG」フォルダ内に保存されます(P.15)。

## 記録／保存したログを使う

カメラに一時記録したログ、またはカードに保存したログを使用するには、スマートフォンで専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)を起動し、本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続してください(P.107)。

### 専用アプリOLYMPUS Image Track (OI.Track)を使ってできること

- 一時記録中のログと画像の確認  
カメラで一時記録中のログと画像をスマートフォンで確認することができます。
- 一時記録したログと画像のスマートフォンへの転送、閲覧  
カメラで一時記録したログと画像をスマートフォンに転送して、閲覧することができます。
- 移動の軌跡の閲覧  
カードに保存したログを読み込んで、移動の軌跡をスマートフォンで閲覧することができます。
- ログの一時記録中に撮影した画像と記録したログの関連付け  
ログの一時記録中に撮影した画像と、記録したログを関連付けて閲覧、管理することができます。
- OI.Trackを使って、GPSアシストデータを更新することもできます(P.111)。

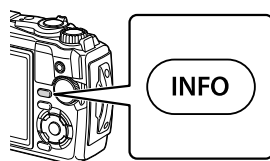
詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://app.olympus-imaging.com/oitrack/>

## 測位情報画面を表示する

カメラの電源が切れているときにINFOボタンを押すと、モニターに測位情報を表示します。

- 表示される情報は、気象条件などにより誤差を生じることがあります。目安としてお使いください。



## 画面表示



- ① 時刻
- ② ログ記録中
- ③ 方位
- ④ 温度(水温)
- ⑤ 気圧

- ⑥ 標高(水深)
- ⑦ GPSアイコン
- ⑧ 緯度
- ⑨ 経度

## ■ 緯度／経度について

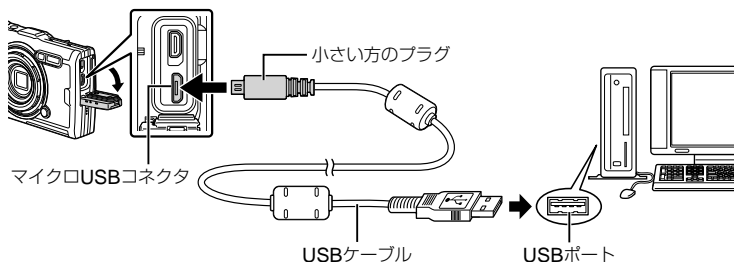
GPSアイコンが点滅しているときや表示されていないときは、測位ができていません。

## GPS機能およびその他の情報表示について

- 厳密な精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度経度、方角、水深、温度など)に対しての保証はいたしません。また、自然災害などの影響により、情報内容が実際と異なる場合があります。

# 7 パソコンと接続する

## カメラをパソコンに接続する



- USBケーブルでカメラとパソコンを接続すると、カメラのモニターに接続先を選択する画面が表示されます。
- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- パソコンと接続できない場合は、一度ケーブルを外し、再度パソコンに接続しなおしてください。
- パソコンとUSB接続している間も、電池を充電することができます。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります(パソコンなどの性能によっては10時間程度かかる場合もあります)。

## パソコンに画像を取り込んで保存する

接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

**Windows : Windows 7 SP1/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10**

**Mac : OS X v10.9 - v10.11, macOS v10.12 - v10.14**

- 1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
  - USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
  - モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
- 2 △▽を押して[ストレージ]または[MTP]を選択します。Ⓚボタンを押します。

ストレージ	パソコンにカードリーダーとして接続します。
MTP	パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



- 3 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。  
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン／工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン／自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンに認識されない場合は、一度USBケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続しなおしてください。

7

パソコンと接続する

## ソフトウェアのインストール

カメラとパソコンを直接USB接続して使うときには、以下のソフトウェアをインストールしてください。

### Olympus Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集、管理を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては以下をご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアルNoを入力する必要があります。

<https://support.olympus-imaging.com/owdownload/>

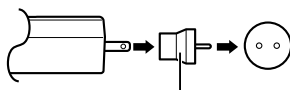
## 8 ご注意

### 電池についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。当社純正の充電電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニターで画像を表示する。
  - パソコンとの接続時。
  - 無線LAN機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属のUSB-ACアダプターで充電を行ってください。
- 長期間(1ヶ月以上)カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- 付属のUSB-ACアダプターによる充電電池の充電時間は約3時間です。周囲温度が高い場合は充電時間が長くなる場合があります。
- 付属の電池は専用のUSB-ACアダプターまたは充電器以外は使用しないでください。また、付属のUSB-ACアダプターは専用の電池以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P.150)に従って廃棄してください。
- USB-ACアダプターを利用される場合でも動作安定のため電池を入れてご使用ください。

### 海外での使用について

- 充電器とUSB-ACアダプターは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V(50/60Hz)でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター(市販)が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター(市販)は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



変換プラグアダプター (市販品の一例)

- 市販の海外旅行用電子式変圧器(トラベルコンバーター)は、充電器とUSB-ACアダプターが故障することがありますので使用しないでください。

## カードの撮影可能枚数(静止画)／撮影可能時間(ムービー)

- 撮影可能枚数および撮影可能時間は目安です。実際の撮影可能枚数および撮影可能時間は、撮影条件や使用するカードによって異なります。
- 撮影可能枚数／撮影可能時間は、4GBのカードを使用した場合の目安です。

### ■ 静止画

画像サイズはアスペクト比4:3のときの例です。

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル形式	撮影可能枚数
RAW	4000×3000	ロスレス圧縮	ORF	270
■SF		1/2.7	JPEG	436
■F		1/4		638
■N		1/8		1231
■MSF	3200×2400	1/2.7		673
■MF		1/4		975
■MN		1/8		1846
■SSF	1280×960	1/2.7		3385
■F		1/4		4514
■N		1/8		7170

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。




### ■ ムービー

画像サイズ／ビットレート／フレームレート	撮影可能時間
<div>4K</div> <div>3840×2160 30p</div>	5分
<div>4K</div> <div>3840×2160 25p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Super Fine 60p</div>	10分
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Super Fine 50p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Super Fine 30p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Super Fine 25p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Fine 60p</div>	17分
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Fine 50p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Fine 30p</div>	
<div>FHD</div> <div>1920×1080 Fine 25p</div>	

画像サイズ/ビットレート/フレームレート		撮影可能時間
 1920×1080 Normal 60p		29分
 1920×1080 Normal 50p		
 1920×1080 Normal 30p		
 1920×1080 Normal 25p		
 1280×720 Super Fine 30p		20分
 1280×720 Super Fine 25p		
 1280×720 Fine 30p		29分
 1280×720 Fine 25p		
 1280×720 Normal 30p		
 1280×720 Normal 25p		
 1920×1080 HighSpeed 120fps		20秒
 1280×720 HighSpeed 240fps		
 640×360 HighSpeed 480fps		


## 8

### ご注意

- ムービーの画質モードが  /  /  の場合、連続して撮影できる時間は最長20秒です。
- カードの容量に関わらず、1度に記録できるムービーの最大ファイルサイズは4GBまでになります。

### 撮影枚数を増やすには

不要な画像を消去するか、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存してから、カードの画像を消去します。

 **【1コマ消去】** (P.66) / **【選択コマ消去】** (P.76) / **【全コマ消去】** (P.95) / **【カード初期化】** (P.21)



## カメラのお手入れと保管

水中で使用する場合の注意事項については、「防水・耐衝撃性能について」(P.123)をご覧ください。

### カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源を切り、電池を取り外します。

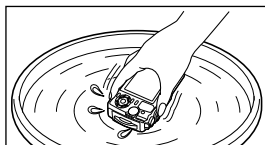
- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

#### カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。
- 「砂や泥、ほこりなどの異物がカメラに付着するような場所で使用したとき」は、そのまま使用すると故障の原因となる場合がありますので、次の方法ですすぎ洗いをしてください。

**1** 電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉じて、ロックします。(P.10)

**2** バケツなどに真水を張り、カメラを下向きにした状態で水の中に入れ、よく揺すりまします。また、強めの水道水を当てながら、ボタン、ダイヤルを操作しすすぎ洗いをしてください。



#### モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

#### レンズ：

- レンズに砂やほこりなどの異物がついた状態でレンズを拭くと、キズがつくおそれがあります。市販のレンズブロアーでほこりを吹き払ったあと、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。

#### 電池／USB-ACアダプター：

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

## カメラの保管

- ・ 長期間、カメラを使用しないときは、電池とカードを取り外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- ・ 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ・ 使用後は清掃して保管してください。
- ・ 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- ・ 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- ・ レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- ・ 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

## 画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

**1 カスタムメニュー H の [ピクセルマッピング] (P.100) を選択します。**

**2 [スタート] (サブメニュー 2) 表示中に ⓧ ボタンを押します。**

- ・ ピクセルマッピング実行中の [処理中] バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- ・ 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

## アフターサービス

- ・ 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよく読みの上、大切に保管してください。
- ・ 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1 年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- ・ 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- ・ 本製品の製造打ち切り後、5 年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後5 年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
- ・ 交換が行われた部品（もしくは製品）の所有権は弊社に帰属し、返却はいたしません。
- ・ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償ができません。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- ・ 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

## 防水・耐衝撃性能について

本製品は、防水性能・耐衝撃性能を備えています。

- 防水性能：JIS/IEC保護等級8級(IPX8) \*1に該当し、水深15mまでの撮影が可能です。
- 耐衝撃性能：当社試験条件による落下テストをクリアしています。

\*1 当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味しています。

- 本製品の防水性能・耐衝撃性能については当社試験条件によるものであり、無破損・無故障を保証するものではありません。

以下の点を守り、正しくご使用ください。

### 水中での使用前の注意

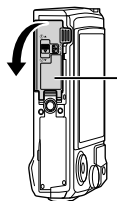
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くすの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーのパッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開閉ノブとロックノブをしっかりと閉じてください。
- 水辺(海上・湖上・海辺・湖畔等)での電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- このカメラは水中で沈みます。
- 温泉では使用できません。

### 水中での使用中の注意

- 水深15mを超えて、または水中で60分以上使用しないでください。
- 水中では電池／カードカバーおよびコネクタカバーの開け閉めをしないでください。
- 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。衝撃により電池／カードカバーおよびコネクタカバーが開くおそれがあります。

### 水中での使用後の注意

- カメラについた水滴や汚れを繊維くすの出ない布で十分にふき取ったあと、電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開けてください。
- 電池／カードカバーおよびコネクタカバーを開くとき、カバーの内側に水滴が入り込まないように、図に示す向きにして、ゆっくり開けてください。カバーの内側表面に水滴がついた場合は、必ずふき取ってからご使用ください。



電池／カードカバー

## 保管・お手入れについて

- 洗浄・防錆・防曇・補修等で薬品類を使わないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用したあとは、電池／カードカバーおよびコネクタカバーをしっかりと閉め、ロックをし、レンズリングをはずした状態でバケツなどに入れた真水に10分程度さらし、そのあと風通しの良い日陰で乾燥させてください。  
水中での使用後、真水にさらさずに60分以上放置しないでください。カメラの外観不良・防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。  
防水パッキンの交換可能代理店・修理店につきましては、オリンパスホームページ <https://olympus-imaging.jp/> よりご確認ください。

## その他の注意

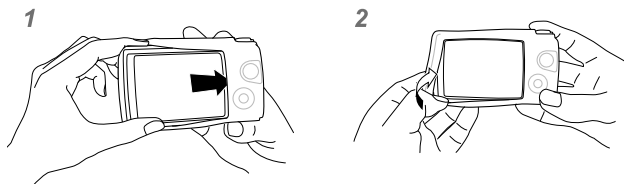
- 本製品の付属品(充電電池など)は防水性能はありません。
- カメラに衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。

## 別売品を使う

### 別売シリコンジャケットの取り付け方

取り付けは図のように行います。取り外しは取り付けと逆の手順で行います。

- シリコンジャケットを無理な力で引っ張ると、破損する恐れがあります。ご注意ください。



### オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用すると、ワイヤレスでフラッシュ撮影や水中フラッシュ撮影ができます。

ワイヤレスフラッシュ撮影での設置可能な範囲は周辺環境により変わりますが、カメラの内蔵フラッシュから1～2mが目安です。

- カメラとフラッシュの通信にはカメラの内蔵フラッシュを使用します。
- 専用水中フラッシュを使うには、防水プロテクター、光ファイバーケーブルなどが必要です。
- ワイヤレスフラッシュや水中フラッシュの操作については、専用外部フラッシュや防水プロテクターなどの取扱説明書をご覧ください。

#### 1 専用フラッシュの電源を入れる。

#### 2 専用フラッシュの発光モードをRCモードに設定する。

チャンネルやグループの設定がある場合は、CH1、グループAに設定します。

#### 3 ライブコントロールでフラッシュを選び、[**⚡RC**]（リモートコントロール）を選ぶ。

- 「フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）」（P. 45）

#### 4 テスト撮影をして、フラッシュの作動や撮影した画像を確認する。

- カメラとワイヤレスフラッシュの充電状況を確認してから撮影します。
- カメラのフラッシュが[**⚡RC**]のとき、カメラ本体の内蔵フラッシュはワイヤレスフラッシュとの通信に使用されます。撮影のためのフラッシュとしては使用できません。
- ワイヤレスフラッシュ撮影では、専用外部フラッシュのリモートセンサーをカメラに向け、発光部を照射方向に向けて設置します。

## 別売アクセサリーについて

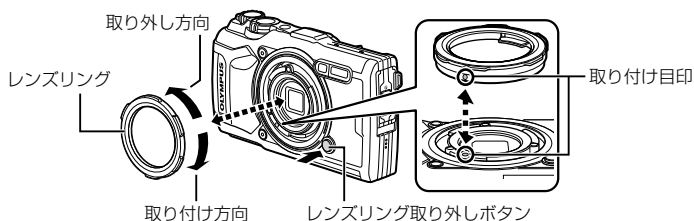
別売のアクセサリーを使うことで、いろいろな撮影を楽しむことができます。アクセサリーを取り付けるときは、カメラに付属しているレンズリングを取り外してください。

LEDライトガイド(LG-1)	Δ (顕微鏡)モードでの撮影時やマクロ撮影時に、マクロLEDの照明ムラを防ぐことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを発光させないでください。</li> <li>水中では使用できません。</li> </ul>
フラッシュディフューザー(FD-1)	Δ (顕微鏡)モードでの撮影時やマクロ撮影時に、被写体に接近してフラッシュ撮影ができます。
レンズバリア(LB-T01)	撮影時や持ち運びのときにレンズ面に汚れ・キズがつくのを防ぎます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シリコンジャケットとの併用はできません。</li> </ul>
フィッシュアイコンバーター(FCON-T01) *	よりワイドな風景を撮影できます。
全周フィッシュアイコンバーター(FCON-T02) *	ズーム位置を変更するだけで全周魚眼と対角魚眼の両方を撮影できます。
テレコンバーター(TCON-T01) *	より遠くの風景を撮影できます。
プロテクトフィルター(PRF-D40.5 PRO) *	撮影時や持ち運びのときにレンズ面に汚れ・キズがつくのを防ぎます。

\* カメラに取り付けるにはコンバーターアダプター (CLA-T01)が必要です。

- 別売アクセサリーをお使いの場合は、ライブコントロールでアクセサリー設定を行ってください。📷 「別売アクセサリーを使う(アクセサリー)」(P.61)
- 水中での使用後は、真水で洗浄してください。
- 詳しくは、オリンパスホームページ <https://olympus-imaging.jp/> よりご確認ください。

## ■ レンズリングの取り外し方、取り付け方



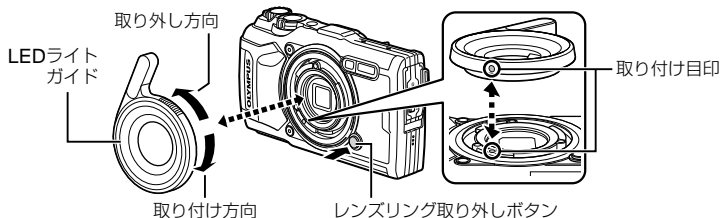
### 取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

### 取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

## ■ LEDライトガイドの取り付け方、取り外し方



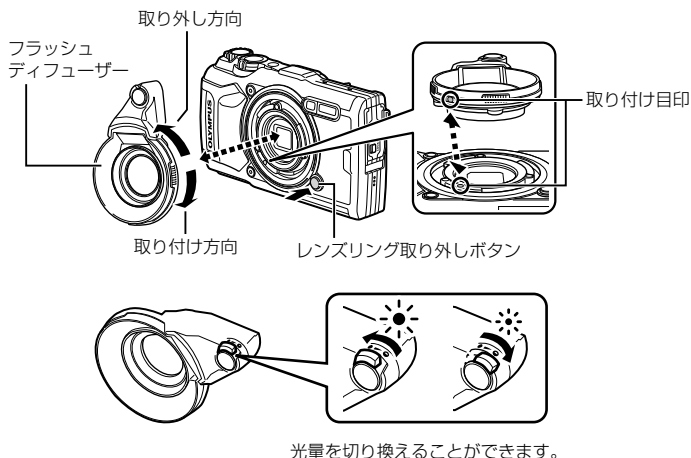
### 取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

### 取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

## ■ フラッシュディフューザーの取り付け方、取り外し方



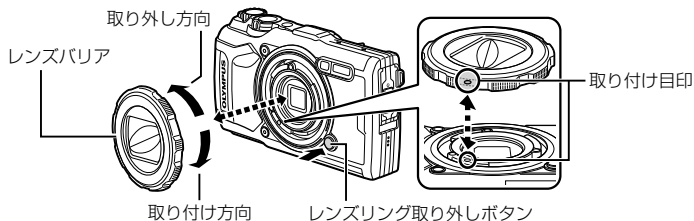
### 取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

### 取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

## ■ レンズバリアの取り付け方、取り外し方



### 取り付け方

取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。

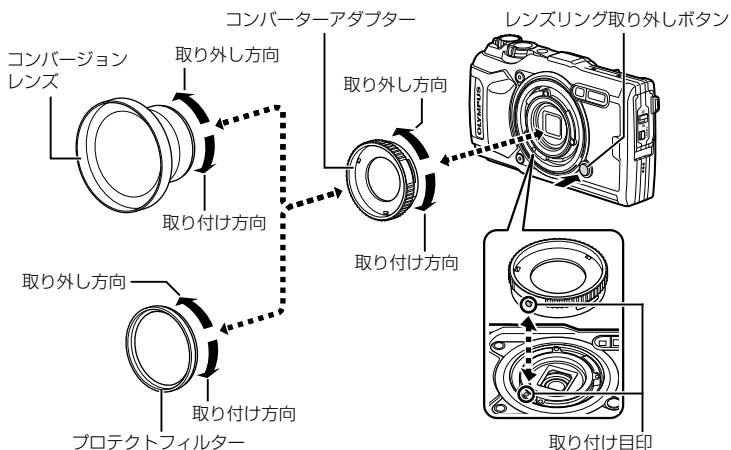
- レンズバリアの取り付け目印は裏側にあります。

### 取り外し方

レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。



## ■ コンバージョンレンズ／プロテクトフィルターの取り付け方、取り外し方



### 取り付け方

- 1) コンバーターアダプターを取り付けます。
  - 取り付け目印の位置を合わせ、カチッと音がするまで取り付け方向に回します。
- 2) コンバージョンレンズ／プロテクトフィルターを取り付け方向に回して、コンバーターアダプターにねじ込みます。

### 取り外し方

- 1) コンバージョンレンズ／プロテクトフィルターを取り外し方向に回します。
- 2) コンバーターアダプターを取り外します。
  - レンズリング取り外しボタンを押しながら、取り外し方向に回します。

## 9 こんなときは？

### 故障かな？と思ったら

#### 電池を入れてもカメラが動かない

##### 電池が充電されていない

- 充電器で電池を充電してください。

##### 低温下において、一時的に電池の性能が低下した

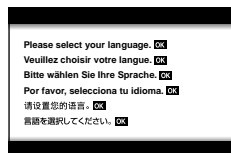
- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

#### 言語の設定を促す画面が表示される

以下の場合に、図の画面が表示されます。

- 初めてカメラの電源を入れた
- 言語の設定が終了していない

「初期設定をする」(P.18)をご覧ください、言語の設定を行ってください。



## 9

#### シャッターボタンを押しても撮影ができない

##### カメラが自動的に電源オフになっていた

- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。📷【スリープ時間】(P.100)  
シャッターボタンを半押しすると復帰します。  
スリープモードで5分放置すると電源が切れます。

##### フラッシュが充電中である

- モニターの⚡マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待ってからシャッターボタンを押してください。

##### カメラの内部温度が上がっている

- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出し、内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

## ピント合わせができなかった

- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません。(モニターの合焦マークが点滅します。)被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

## オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

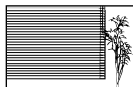
合焦マーク点滅  
このようなもの  
にはピントが合いま  
せん。



コントラストがは  
っきりしない被写体



画面中央に極端に明  
るいものがある場合



縦線のない被写体\*1

合焦マークは点灯  
するが、写したい  
ものにピントが合  
わない。



遠いものと近いもの  
が混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFター  
ゲット内がない

\*1 カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

## 長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。[長秒時ノイズ低減]は[Off]に設定することもできます。

🔧 [長秒時ノイズ低減] (P.97)

## 日時設定がされていない

### 購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。🔧 「初期設定をする」 (P.18)

### カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります(当社試験条件による)。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

## 設定した機能が元に戻ってしまう

P/A/☞以外の撮影モードでは、モードダイヤルを回したり電源を切ると設定した機能が初期設定に戻ります。

## 設定できない機能がある

撮影モードや撮影設定によっては選択できない機能があります。☞「撮影モード設定可能一覧」(P.136)

## 撮影した画像が全体的に粗い

📷画質モードで、ピクセルサイズの大きい値に設定するか圧縮率をSFまたはFに設定してください。☞「画質を選択する(📷画質モード)」(P.56)  
ノイズ(ざらつき)が気になる場合は、ISO感度を下げると改善される場合があります。  
☞「感度を変更する(ISO感度)」(P.52)

## 撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。手などをかざして光源から直接レンズに光が当たらないようにします。

## 撮影した画像に光が写っている

夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写り込むことがあります。

## 被写体でない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。【ピクセルマッピング】を行ってください。  
また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。☞「画像処理機能をチェックするーピクセルマッピング」(P.122)

## レンズが曇る／モニターが見にくい

急激な温度変化で曇り(結露)が発生する場合があります。電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影してください。

## テレビでムービーを再生するとなめらかに再生されない

テレビのフレームレートと撮影したムービーのフレームレートが合っていない可能性があります。その場合はパソコンで再生してください。テレビでなめらかに再生するには、カメラのフレームレート設定を変更する必要があります。☞【動画フレームレート】(P.87)



## 方位が正しく示されない

強い磁気や電波の影響(テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くなど)があると誤動作します。カメラを持って、手首を返しながら8の字に振ると復帰する場合もあります。

## モニターに警告メッセージ(エラーコード)が表示される

モニター表示	原因	対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	カードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P.15)
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。	大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 日時を設定してください	日時が未設定です。	日時を設定してください(P.18)。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上がっています。	カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上がっています。	しばらくすると、自動的に電源が切れます。カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。

モニター表示	原因	対処方法
 接続されていません	カメラがパソコンやHDMI機器に正しく接続されていません。	正しく接続しなおしてください。
 現在ログ機能は使用できません	ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。	カードを正しく入れてログをカードに保存してください。
	電池残量がありません。	電池を充電してください。
	HDMIケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。	ケーブルを抜いて接続を解除してください。
	カメラが無線通信中です。	無線通信を終了してください。
 カード内のログファイル数が上限です これ以上ログファイルを作成できません	電池をカメラに入れていない状態でUSB-ACアダプターを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。	カメラに電池を入れ、USB-ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
	カードにログの保存ができません。 ・保存できるログファイル数の上限は199個までです。	ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。
 (点滅)	カードに保存されていないログが残っています。	カードを正しく入れてログをカードに保存してください。
	カードにログの保存ができません。 ・保存できるログファイル数の上限は199個までです。	ログファイルをパソコンに保存して不要なログファイルを消去してください。
	カードに問題があります。	新しいカードを入れてください。
	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P.15)
	カードに十分な空き容量がありません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。

モニター表示	原因	対処方法
 (点灯)	ログファイルを一時的に記録しているカメラの記憶領域がいっぱいになっています。	カードを正しく入れてログをカードに保存してください。
	電池残量がありません。	電池を充電してください。
	HDMIケーブルを使ってテレビなどの外部機器と接続中です。	ケーブルを抜いて接続を解除してください。
	カメラが無線通信中です。	無線通信を終了してください。
	電池をカメラに入れていない状態でUSB-ACアダプターを使ってコンセントからカメラの電源を供給しています。	カメラに電池を入れ、USB-ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
 (赤色に点灯)	日時と地域が設定されていません。	日時と地域の設定を行ってください。
	GPSが故障です。	電源を入れ直してもエラーメッセージが消えない場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。












## 撮影モード設定可能一覧

■ / P / A / / / モード

		P	A				
						Focus BKT	
露出補正	×	○	○	○	○	○	○
ピクチャーモード*	×	○	○	*1	*1	*1	*1
ISO感度	×	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	×	○	○	○	○	○	○
AF方式	×	○	○	*1	*1	*1	*1
アスペクト比	○	○	○	○	○	○	×
画質モード	○	○	○	○	*1	○	○
画質モード	○	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正	×	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正	×	×	×	×	×	×	×
フラッシュ	*1	○	○	*1	*1	*1	*1
フラッシュ補正	×	○	○	○	○	○	○
連写/セルフタイマー	*1	○	○	○	*1	*1	○
測光	×	○	○	○	○	○	○
顔優先	×	○	○	×	×	×	×
アクセサリ	*1	○	○	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	×	×	×	×
インターバル撮影設定	×	○	○	○	×	×	○
Focus BKT	×	○	○	×	×	○	×
深度合成設定	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	○	○	○	×	×	○
ムービー録音	○	○	○	○	○	○	○
録音レベル調整	○	○	○	○	○	○	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○	○	○

\*1 設定できない機能があります。



						
						
露出補正	○	○	○	○	○	○
ピクチャーモード	×	×	×	×	×	*1
ISO感度	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	○	○	○	○	○	○
AF方式	*1	*1	*1	*1	*1	○
アスペクト比	○	○	○	○	○	×
 画質モード	○	○	○	○	*1	○
 画質モード	○	○	○	○	○	○
 手ぶれ補正	○	○	○	○	○	×
 手ぶれ補正	×	×	×	×	×	*1
フラッシュ	*1	*1	*1	*1	×	×
フラッシュ補正	○	○	○	○	×	×
連写/セルフタイマー	*1	*1	*1	*1	×	*1
測光	×	×	×	×	×	×
顔優先	×	×	×	×	×	*1
アクセサリ	*1	*1	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	*1
AFターゲット選択	○	○	○	×	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×	×	×
深度合成設定	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	○	○	○	×	×
ムービー録音	○	○	○	○	○	*1
録音レベル調整	○	○	○	○	○	*1
動画フレームレート	○	○	○	○	○	*1
動画ビットレート	○	○	○	○	○	*1

\*1 設定できない機能があります。

## ■ SCNモード

								
露出補正	×	○	×	×	×	×	×	×
ピクチャーモード	×	×	×	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	×	×	×
AF方式	×	×	×	×	×	×	×	×
アスペクト比	○	○	○	○	○	○	○	○
 画質モード	○	*1	○	○	○	○	*1	○
 画質モード	○	○	○	○	○	○	○	○
 手ぶれ補正	○	○	○	○	○	○	○	○
 手ぶれ補正	×	×	×	×	×	×	×	×
フラッシュ	*1	*1	*1	*1	*1	×	×	×
フラッシュ補正	×	×	×	×	×	×	×	×
連写/セルフタイマー	*1	*1	*1	*1	*1	*1	×	*1
測光	×	×	×	×	×	×	×	×
顔優先	×	×	×	×	×	×	×	×
アクセサリ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	○	○	○	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×	×	×	×	×
深度合成設定	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	○	×	○	○	○	○	×	○
ムービー録音	○	×	○	○	○	○	×	○
録音レベル調整	○	×	○	○	○	○	×	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○	○	○	○

\*1 設定できない機能があります。

露出補正	×	×	×	×	×	○	×	×
ピクチャーモード	×	×	×	×	×	×	×	×
ISO感度	×	×	×	×	×	×	×	×
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	○	×	×
AF方式	×	×	×	×	×	×	×	×
アスペクト比	○	○	○	○	○	×	○	○
画質モード	○	○	○	○	○	×	*1	○
画質モード	○	○	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正	×	○	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正	×	×	×	×	×	×	×	×
フラッシュ	×	*1	*1	×	*1	×	×	×
フラッシュ補正	×	×	×	×	×	×	×	×
連写/セルフタイマー	×	*1	*1	*1	*1	×	×	*1
測光	×	×	×	×	×	×	×	×
顔優先	×	×	×	×	×	×	×	×
アクセサリ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
リセット/カスタム登録	○	○	○	○	○	○	○	○
AFターゲット選択	○	○	○	○	○	*1	○	○
インターバル撮影設定	×	×	×	×	×	×	×	×
Focus BKT	×	×	×	×	×	×	×	×
深度合成設定	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	×	○	○	○	○	×	×	○
ムービー録音	×	○	○	○	○	×	×	○
録音レベル調整	×	○	○	○	○	×	×	○
動画フレームレート	○	○	○	○	○	○	○	○
動画ビットレート	○	○	○	○	○	○	○	○

\*1 設定できない機能があります。

## 初期設定／カスタム一覧

\*1: [カスタムモード C1]または[カスタムモード C2]に登録可能な機能

\*2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能

\*3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

### ダイレクトボタン

機能	初期設定	*1	*2	*3	
露出補正	±0.0	✓	✓	✓	34, 35, 40
フラッシュ	△モードの[  ] / 魚モードの[  ]、 [  ]、[  ]の場合		✓	✓	45
	△モードの[  ]、 [  ]、[  ]の場合	③	✓	✓	
	上記以外の場合	AUTO	✓	✓	
連写/セルフタイマー	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	42

### ライブコントロール

機能	初期設定	*1	*2	*3	
ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓	50
ISO感度	AUTO	✓	✓	✓	52
ホワイトバランス	AUTO	✓	✓	✓	53
AF方式	AF	✓	✓	✓	55
アスペクト比	4:3	✓	✓	✓	55
 画質モード	N	✓	✓	✓	56
 画質モード	1920×1080 Fine 30p	✓	✓	✓	57
 手ぶれ補正	ON	✓	✓	✓	59
 手ぶれ補正	ON	✓	✓	✓	59
フラッシュ	△モードの[  ] / 魚モードの[  ]、 [  ]、[  ]の場合		✓	✓	45
	△モードの[  ]、 [  ]、[  ]の場合	③	✓	✓	
	上記以外の場合	AUTO	✓	✓	
フラッシュ補正	±0.0	✓	✓	✓	
連写/セルフタイマー	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓	42
測光		✓	✓	✓	60
顔優先	OFF	✓	✓	✓	60
アクセサリ	OFF	✓	✓	✓	61

## 📷 撮影メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	👉
📷	リセット/ カスタム登録	リセット	標準	—	—	—	80
		カスタムモード C1	—	—	—	81	
		カスタムモード C2	—	—	—		
	ピクチャーモード		Natural	✓	✓	—	81
	AFターゲット選択		[・]	✓	✓	✓	82
📹	インターバル撮影設定		Off	—	✓	✓	84
	コマ数		99	—	✓	✓	
	撮影開始待ち時間		00:00:01	—	✓	✓	
	撮影間隔		00:00:01	—	✓	✓	
	タイムラプス動画		Off	—	✓	✓	
	タイムラプス	ムービーサイズ	FullHD	—	✓	✓	
	動画設定	フレームレート	10fps	—	✓	✓	
	Focus BKT		Off	✓	✓	✓	85
	撮影開始待ち時間		0秒	✓	✓	✓	
	撮影枚数		30	✓	✓	✓	
	フォーカスステップ		標準	✓	✓	✓	
	深度合成設定	撮影開始待ち時間	0秒	✓	✓	✓	86
		撮影枚数	8	✓	✓	✓	
	日付写し込み		Off	✓	✓	✓	86

## 📹 動画メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
📹	ムービー録音	On	—	✓	—	87
	録音レベル調整	±0	—	✓	—	87
	動画フレームレート	30p	—	✓	—	57, 87
	動画ビットレート	Fine	—	✓	—	57, 87

10

資料

## 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	スライド ショー	スタート	—	—	—	—	73	
		BGM	Party Time	—	✓	✓		
		スライド	すべて	—	✓	✓		
		1コマ再生時間	3秒	—	✓	—		
		ムービー再生	ショート	—	✓	—		
	回転再生		On	—	✓	✓	88	
	編集	画像選択	RAW編集	—	✓	✓	✓	88
			JPEG編集	—	—	—	88	
			ムービー編集	—	—	—	92, 93	
			録音	—	—	—	91	
		画像合成		—	—	—	—	91
	プリント予約		—	—	—	—	75	
	全プロテクト解除		—	—	—	—	93	
	スマートフォン接続		—	—	✓	—	107	

## カスタムメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
🔧	AF/MF							
	A	AFイルミネーター	Off	✓	✓	✓	96, 101	
		MFアシスト	拡大	Off	✓	✓	—	96, 101
			ピーキング	Off	✓	✓	—	
	表示/音/接続							
	B	🔲/Info表示 設定	▶Info	表示Off、総合表示	✓	✓	✓	96, 102
			LV-Info	カスタム表示1（ヒストグラム表示）、カスタム表示2（水準器）	✓	✓	✓	
			🔲表示	25、カレンダー表示	✓	✓	—	
		LVブースト	Off	✓	✓	✓	96	
		フリッカー低減	オート	✓	✓	—	96	
表示罫線選択		Off	✓	✓	—	96		
ピーキング色		白	✓	✓	—	96, 101		
電子音		3	✓	✓	✓	96		
HDMI		出力サイズ	1080p優先	—	✓	—	97, 104	
		HDMIコントロール	Off	—	✓	—		
露出/ISO								
C	露出基準調整	🔲	±0	✓	✓	—	97	
		🔲						
	ISOオート設定	上限/基準値設定	上限値 1600 基準値 100	✓	✓	✓	97	
		低速限界設定	オート					
	高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	97		
	長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓	97		

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉	
⚙️	フラッシュ						
	<b>D</b> +  連動	Off	✓	✓	✓	40, 59, 98	
	+ WB 連動	WB AUTO	✓	✓	—	98	
画質/WB/色							
E	画質設定	◀️-1  F、◀️-2  N、 ◀️-3  M、◀️-4  S	✓	✓	✓	98, 105	
	WBモード	オート   A±0、G±0	✓	✓	—	53, 98	
	WBオート 電球色残し	On	✓	✓	✓	98	
	カラー設定	sRGB	✓	✓	✓	98	
記録							
F	ファイルネーム	リセット	—	✓	—	99	
	ファイルネーム編集	—	—	✓	—	99	
	著作権情報	著作権情報記録	Off	—	✓	—	99
		撮影者入力	—	—	—	—	
		著作権者入力	—	—	—	—	
フィールドセンサー							
G	GPS位置情報記録	Off	—	✓	—	100	
	GPS動作モード	精度優先	—	✓	✓	100	
	標高/温度設定	標高調整	—	—	✓	—	100
		m/ft	m	—	✓	—	
		°C/°F	°C	—	✓	—	
その他							
H	ピクセルマッピング	—	—	—	—	100, 122	
	水準器調整	—	—	✓	—	100	
	スリープ時間	1分	—	✓	✓	17, 100	
	認証マーク表示	—	—	—	—	100	

## 🔧 セットアップメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	👉
🔧	カードセットアップ	—	—	—	—	21, 95
	日時設定	—	—	—	—	18
	モニター調整	English	—	—	—	95
	モニター調整	±0	—	✓	—	94
	撮影確認	0.5秒	✓	✓	—	94
	Wi-Fi設定	Wi-Fi接続設定	プライベート	—	✓	109
		プライベートパスワード	—	—	—	110
		全シェア予約解除	—	—	—	110
		Wi-Fi設定リセット	—	—	—	109

# 仕様

## ■ カメラ

形式	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	
静止画	デジタル記録、JPEG (DCF準拠)
対応規格	Exif 2.3、DPOF
静止画音声	Waveフォーマット準拠
ムービー	MOV H.264 リニアPCM (HS120fps、HS240fps、タイムラプス動画時)
記録媒体	
	SD/SDHC/SDXC (UHS-I対応)
総画素数	
	約1271万画素
カメラ部有効画素数	
	1200万画素
撮像素子	
	1/2.3型CMOS (原色フィルター)
レンズ	
	オリンパスレンズ4.5～18.0mm、F2.0～4.9 (35mmフィルム換算25～100mm相当)
測光方式	
	撮像素子によるデジタルESP 測光、スポット測光
シャッター	
	1/2～1/2000 (SCNモードの  、Aモード：最長4秒まで／SCNモードの  ：最長15秒まで)
撮影範囲	
通常	0.1m～∞(W/T)
スーパーマクロ	0.01m～0.3m (f=5.4～18.0mm)
顕微鏡時	0.01m～0.3m (f=5.4～18.0mm)
モニター	
	3.0型(インチ) TFTカラー液晶、約104万ドット
コネクタ	
	マイクロUSBコネクタ／HDMIマイクロコネクタ(タイプD)
自動カレンダー機能	
	2000～2099年の範囲で自動修正
防水機能	
種類	保護等級8級(IPX8)：JISC0920/IEC60529 (当社試験条件による)、水深 15mで使用可
意味	当社の定める、指定時間および指定圧力の水中に没して使用できることを意味する
防塵	
	保護等級6級(IP6X)：JISC0920/IEC60529
Wi-Fi対応規格	
	IEEE802.11b/g/n



<b>GPS</b>	
受信周波数	1575.42MHz (GPS / 準天頂衛星システム) 1598.0625MHz ~ 1605.3750MHz (GLONASS)
測地系	WGS84
<b>使用環境</b>	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
<b>電源</b>	
	専用リチウムイオン電池(当社製LI-92B) 1個または、USB-ACアダプター(F-5AC)
<b>大きさ</b>	
	幅113.0mm × 高さ66.0mm × 厚さ32.4mm (突起部を除く)
<b>質量</b>	
	253g (電池 / カード含む)

## ■ リチウムイオン充電電池LI-92B

<b>形式</b>	
	充電式リチウムイオン電池
<b>Model No.</b>	
	LI-92B
<b>公称容量</b>	
	DC3.6V
<b>公称容量</b>	
	1350mAh
<b>充放電回数</b>	
	約300回(使用する条件により異なります。)
<b>使用環境</b>	
温度	0℃ ~ 40℃ (充電時)

## ■ USB-ACアダプター (F-5AC)

<b>Model No.</b>	
	F-5AC-1/F-5AC-2
<b>定格入力</b>	
	AC100 ~ 240V (50/60Hz)
<b>定格出力</b>	
	DC5V、1500mA
<b>使用環境</b>	
温度	0℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。




**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

# 11 安全にお使いいただくために

## 安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

### 危険

#### 電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- ・ 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高圧容器で加熱しない
- ・ 電磁調理器の上や傍らに置かない
- ・ 端子を金属類で接続しない
- ・ 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- ・ 高温になる場所で使用・放置しない

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど

- ・ 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない

端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。

- ・ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- ・ 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- ・ カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

#### USB-ACアダプターは誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

USB-ACアダプターが、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- ・ USB-ACアダプターを濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- ・ USB-ACアダプターを布などで覆った状態で使用しない
- ・ USB-ACアダプターを分解・改造しない
- ・ USB-ACアダプターは指定の電源電圧で使用する

## ⚠ 警告

### 製品の取り扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない  
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない  
火災・感電の原因となります。
- フラッシュやLED（AFイルミネータ含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない  
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供、ペットなどの動物が触れる可能性のある場所に放置しない  
以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。  
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部だけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない  
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない  
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない  
火災・感電の原因となります。  
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない  
低温やけどなどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプター以外は使用しない  
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- 通電中のUSB-ACアダプター、充電中の電池に長時間触れない  
充電中のUSB-ACアダプターや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

## 電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない  
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する  
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズをつけない  
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない  
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない  
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない  
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れない  
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない  
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける  
火災・感電の原因となります。  
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

## USB-ACアダプターの取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず**USB-ACアダプター**本体を持つ  
USB-ACアダプター本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

## 無線LAN機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方から**15cm以上**離す  
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る  
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 航空機内では電源を切る  
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

## ⚠ 注意

### 製品の取り扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する  
火災・やけどの原因となることがあります。  
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。  
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する  
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない  
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

### 電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない  
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく  
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

### USB-ACアダプターの取扱いについて

- お手入れの際は、USB-ACアダプター本体をコンセントから抜いて行う  
USB-ACアダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。
- 付属のUSB-ACアダプター F-5ACはこのカメラ専用です。  
他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属のUSB-ACアダプター F-5ACはこのカメラ以外の機器に接続して使用しないでください。
- プラグインタイプのUSB-ACアダプター F-5ACは、コンセントに垂直に正しく据え付けてください。

## 使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池／カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXCカード以外は、絶対にカメラに入れない  
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外（三脚など）は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - 長時間、モニターで画像を表示する。
  - GPS機能を使用する

- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(<https://www.jbrc.com>)をご覧ください。
- モニターは強く押さないでください。  
画面の上にじみがり残り、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。



Li-ion

## その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

## 機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

本製品を分解、又は改造すること

本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定省電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されてないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS/OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m以下です。

**2.4DS/OF4**

## 無線LAN機能の使用について

本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。



## GPS機能、電子コンパスについて

- 上空が開けていない場所(室内、地下、水中、森や高層ビルの近く)、および強い磁気や電波の影響のあるところ(高圧電線の近く、磁石や電化製品、1.5GHz携帯電話の近く)では、測位できなかったり、誤差が生じることがあります。
- 測位情報画面や静止画再生画面などで表示される標高は、カメラ本体に内蔵されている圧力センサーからの情報を元に表示・記録されています。GPSの測位情報に基づいた表示ではありませんのでご注意ください。
- 強い磁気や電波の影響(テレビ、電子レンジ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くなど)があると電子コンパスが誤動作する場合があります。カメラをしっかりと持って、手首を返しながら8の字に振ると電子コンパス機能を復帰させることができます。
- GPS機能および電子コンパス機能は、精度を求める機能ではないため、いかなる場合においても測定した値(緯度経度、方角など)に対して保証しません。
- GPS機能及びWi-Fi機能搭載機種については、国や地域によっては定められた法律があり、修理サービスを提供できない場合がありますので、事前にその国や地域のサービスステーションにお問合せ下さい。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、又はマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の【認証マーク表示】(P.100)に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプター (USB-ACアダプター対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

11

安全にお使いいただくために

## 商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

ApicalロゴはApical Limitedの登録商標です。



Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。



その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

## カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会 (JEITA) で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下のURLのウェブサイトが必要に応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。  
<http://www.olympus.co.jp/en/support/imshow/digicamera/download/notice/notice.cfm>

# 索引

## アイコン

⚡RCモード	125
🗨️ (言語切り換え)	94
😊 (顔優先AF)	60
📷 (連写L)	42
📷 (連写H)	42
📷/Info表示設定	96, 102
▶Info	96, 102
📷表示	96, 103
📷/🗨️	42
🔌+🔌連動	98
⚡+WB連動	98
📷 (インデックス再生)	65, 103
🔍 (クローズアップ再生)	65
🗑️ (1コマ消去)	75
✓ (画像選択)	76
🔌 (モード機能呼び出し)ボタン	30, 32, 33
📷 (ムービー)ボタン	37
🔌 (シェア予約)	71

## 英数

A (絞り優先撮影)	35
AdobeRGB	98
AFイルミネーター (AF補助光)	25, 101
AFターゲット選択	82
AFターゲット表示	82
AF方式	55
AUTO (📷)	25
BGM	73
DPOF	75
Exif情報	99
Focus BKT	85
GPS位置情報記録	100
GPS動作モード	100
GPSログ	113
HDMI	97, 104
HDMI出力	104
HDR逆光補正	29

INFO	24, 63, 78
ISOオート設定	97
ISO感度	52
JPEG編集	68, 88, 90
LEDライトガイド	127
LOG	111, 113
LV-Info	96, 102
LVブースト	96
MFアシスト	96, 101
MF (マニュアルフォーカス)	55
Ol.Palette	106
Ol.Share	106
Ol.Track	106
Olympus Workspace	117
P (プログラム撮影)	34
RAW	56
RAW編集	68, 88
RCモード (⚡RCモード)	125
SCN (シーンモード)	28
SDカード	15
フォーマット (初期化)	21
sRGB	98
USB接続	116
WBオート電球色残し	98
WB (ホワイトバランス)	53
WBモード	98
Wi-Fi設定	94, 109, 110

## あ

アスペクト比設定	55
圧縮率	56, 105, 119
位置情報	100
インストール	117
インターバル撮影設定	84
インデックス再生	65, 103
オートモード	25
音声録音	72
音量調整	66

## か

カード	14, 15
カードセットアップ	21, 95
回転	72
回転再生	88
顔優先AF	60
画質設定	98, 105
画質モード	
静止画	56
ムービー	57
カスタムメニュー	96, 142
画像合成	74, 91
画像サイズ	119
静止画	56, 105
ムービー	57
画像転送	108
画像編集	88
合焦音(電子音)	96
画面表示	22
再生時	62
カラー設定	98
カレンダー再生	65, 103
クローズアップ再生	65
言語切り換え(●●)	94
顕微鏡	32
広角(ズーム)	26
高感度ノイズ低減	97
コンバージョンレンズ	129

## さ

再生	
静止画	64, 65
ムービー	64, 66
再生メニュー	88, 142
撮影	
静止画	27
ムービー	37
撮影確認	94
撮影可能枚数	119
撮影メニュー	80, 141
撮影メニュー 1	80
撮影メニュー 2	80

撮影モード	27
シーンモード	28
シェア予約	71
自動追尾	83
絞り優先撮影(A絞り優先撮影)	35
充電	16
パソコンからの充電	116
消去	
1コマ消去	75
全コマ消去	95
選択コマ消去	76
初期化	21
シリコンジャケット	125
深度合成	32
深度合成設定	86
水準器調整	100
水準器表示	24, 102
水中撮影(●●)	33
水中フラッシュ	125
水中モード(●●)	33
スーパーマクロ	55
ズーム	26
ストレージ	117
スマートフォン接続	106
スライドショー	73
スリープ時間	17, 100
スローモーションムービー	58
静止画切り出し	69, 92
接写	32, 55
設定可能一覧	136, 138
セットアップメニュー	94, 143
セルフタイマー	42
全プロテクト解除	93
専用フラッシュ	125
測位情報	115
測光	60
ソフトウェア	117

## た

タイムラプス動画	84
縦横比設定(アスペクト比設定)	55
長秒時ノイズ低減	97

著作権情報	99
デジタルテレコン	41
手ぶれ補正	59
テレビ	104
電子音	96
電池残量	17
動画ビットレート	57, 87
動画フレームレート	57, 87
動画メニュー	87, 141
トリミング	
静止画	68, 90
ムービー	70, 93

## な

日時設定	18
認証マーク表示	100, 153

## は

パートカラー	52
ハイスピードムービー	58
パソコン	116
パノラマ	31
ピーキング	101
ピーキング色	96
比較明合成	30
ピクセルサイズ	56, 105, 119
ピクセルマッピング	100, 122
ピクチャーモード	50, 81
ヒストグラム表示	24, 102
日付写し込み	86
表示罫線選択	96
ファイル形式	119
ファイルネーム	99
ファイルネーム編集	99
フォーカスBKT (ブラケット)	32, 85
フォーカスモード(AF方式)	55
フォーカスロック	46
フォーマット	21
フラッシュ	45
フラッシュ補正	59
フリッカー低減	96
プリント予約	75

フレームレート	57
プロキャプチャー	44
プログラム撮影(Pプログラム撮影)	34
プロテクト	71
編集	88
望遠(ズーム)	26
保護(プロテクト)	71
補助光(AFイルミネーター)	25, 101
ホワイトバランス	53
ホワイトバランス補正	98

## ま

マクロ撮影	32, 55
マニュアルフォーカス(MF)	55
ムービー再生	66
ムービー撮影	37
ムービー編集	69, 92, 93
ムービーモード	38
ムービー録音	87
無線LAN	106
メニュー	78, 140
モードダイヤル	27
モニター調整	94

## や

ユーザー登録	2
--------	---

## ら

ライブコントロール(LVコントロール)	48
ライブコンボジット撮影	30
リセット/カスタム登録	80
リモート撮影	108
連写	42
レンズバリア	128
ロガー機能	111, 113
録音(静止画)	72
録音レベル調整(ムービー)	87
露出基準調整	97
露出補正	40

## わ

---

ワイヤレスRCフラッシュ .....	125
ワンタッチWB .....	54
ワンタッチライト .....	47

発行日 2019.05.

# OLYMPUS

オリンパス株式会社

## ● インターネットでの情報入手

**<https://olympus-imaging.jp/>**

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、  
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。  
上記 URL より [サポート / ダウンロード] のページへお進みください。

## ● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）



**0570-073-000**

\* 携帯電話・PHS からでもご利用になれます。

**FAX 042-642-7486**

\* 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ～ 18:00

\* 年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。